科目名	一般教養・公務員対策講座　Ⅰ	必修選択	必修	年次	1年生	担当教員	新谷　卓
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴							
授業の学習内容	社会人として必要とされる教養を身につけます 様々な人々と円滑なコミュニケーションをはかるために必要な教養を身につけます 就職試験の一般常識テストの対策となるような基本知識を学びます ＊以上の学習内容はいずれも自分の専門を活かすための前提になるものです。						
到達目標	問題を理解した上で、用語を使うことができる 様々な分野に関心を持つことができるようになる。 今まで興味のなかった分野を勉強することによって自分の世界を広げていくことができる。 今話題になっていることや社会問題を他人と話すことができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験の得点60% 出席点・授業態度・小テスト・課題など (合計100点満点 S-F の基準（S100～90、A89～80、B79～70、C69～60、F59～0 ） 再試験は公欠が認められた者のみが受験できる 追試験は一回行い、合格した場合はCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義概要（全体像）	一般教養の意味を理解することができる。	ここ数日間の新聞に目を通しておく。
2	4月24日	講義・演習	政治の時事問題を理解することができる。	教科書「政治」分野のキーワードを読んでおく。
3	5月8日	講義・演習	政治の時事問題を理解することができる。	教科書「政治」分野のキーワードを読んでおく。
4	5月15日	講義・演習	経済の時事問題を理解することができる。	教科書「経済」分野のキーワードを読んでおく。
5	5月22日	講義・演習	経済の時事問題を理解することができる。	教科書「経済」分野のキーワードを読んでおく。
6	5月29日	講義・演習	国際社会の時事問題を理解することができる。	教科書「国際」分野のキーワードを読んでおく。
7	6月5日	講義・演習	国際社会の時事問題を理解することができる。	教科書「国際」分野のキーワードを読んでおく。
8	6月12日	講義・演習	社会の時事問題を理解することができる。	教科書「社会」分野のキーワードを読んでおく。
9	6月19日	講義・演習	社会の時事問題を理解することができる。	教科書「社会」分野のキーワードを読んでおく。
10	6月26日	講義・演習	環境・科学の時事問題を理解することができる。	教科書「環境・科学」分野のキーワードを読んでおく。
11	7月3日	講義・演習	環境・科学の時事問題を理解することができる。	教科書「環境・科学」分野のキーワードを読んでおく。
12	7月10日	講義・演習	スポーツ・文化の時事問題を理解することができる。	教科書「スポーツ・文化」分野のキーワードを読んでおく。
13	9月4日	講義・演習	試験前の復習	全過程の復習
14	9月11日	前期試験	試験	
15	9月18日	振り返り	試験解答の確認	全過程の復習と振り返り
準備学習　時間外学習			事前に講義で行う教科書の該当箇所を読む。授業に関係するテレビのドキュメンタリー番組を視聴する。	
【使用教科書・教材・参考書】			・新聞 ・『超速マスター！一般常識&時事問題』（高橋書店）21年度版	

科目名	一般教養・公務員対策講座　Ⅱ	必修選択	必修	年次	1年生	担当教員	新谷　卓
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴							
授業の学習内容	社会人として必要とされる教養を身につけます 様々な人々と円滑なコミュニケーションをはかるために必要な教養を身につけます 就職試験の一般常識テストの対策となるような基本知識を学びます ＊以上の学習内容はいずれも自分の専門を活かすための前提になるものです。						
到達目標	問題を理解した上で、用語を使うことができる 様々な分野に関心を持つことができるようになる。 今まで興味のなかった分野を勉強することによって自分の世界を広げていくことができる。 今話題になっていることや社会問題を他人と話すことができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験の得点60% 出席点・授業態度・小テスト・課題など （合計100点満点 S-F の基準（S100～90、A89～80、B79～70、C69～60、F59～0 ） 再試験は公欠が認められた者のみが受験できる 追試験は一回行い、合格した場合はCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	政治・経済の仕組みを理解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
2	10月9日	講義・演習	国際・社会問題を理解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
3	10月16日	講義・演習	歴史の流れを理解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
4	10月23日	講義・演習	地理・思想を理解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
5	10月30日	講義・演習	漢字・熟語・四字熟語・敬語などを習得する。	事前に与えられた課題を行う。
6	11月6日	講義・演習	国語の長文を読解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
7	11月13日	講義・演習	基礎的な英文法を理解することができる。	事前に与えられた課題を行う。
8	11月20日	講義・演習	基礎的な英文を解釈することができる。	事前に与えられた課題を行う。
9	11月27日	講義・演習	基礎的な式の計算・方程式・順列などの問題が解ける。	事前に与えられた課題を行う。
10	12月4日	講義・演習	グラフや図形の問題を解くことができる。	事前に与えられた課題を行う。
11	12月11日	講義・演習	物理・化学の基礎問題を解くことができる。	事前に与えられた課題を行う。
12	12月18日	講義・演習	生物・地学の基礎問題を解くことができる。	事前に与えられた課題を行う。
13	1月15日	講義・演習	スポーツ・文化の基礎的な出来事を知る。	事前に与えられた課題を行う。
14	1月22日	前期試験	試験	
15	1月29日	振り返り	試験解答の確認	全過程の復習と振り返り
準備学習　時間外学習			事前に講義で行う教科書の該当箇所を読む。授業に関係するテレビのドキュメンタリー番組を視聴する。	
【使用教科書・教材・参考書】			・新聞 ・『超速マスター！一般常識&時事問題』（高橋書店）21年度版	

科目名	動物園研究Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	森由民
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	動物園フリーライターとして、日本全国の動物園を回り紹介し続けている。多数著書あり。						
授業の学習内容	動物園スタッフを志望する者に対して、自覚的な動物園人としてのライフワークの基礎となる動物園通史と動物園原論を展開する。なお、後期には本講義を基にさらに個別の事例研究や受講者が主体的に関わる演習の要素も予定している。						
到達目標	近代動物園は、市民一般に開かれていることと科学的基盤を持つことで特徴づけられる。 そこでは最新の科学知識の伝達の試みが可能であるとともに、人々の文化的な動物観形成も行なわれていると考えられる。 このような動物園のあり方を的確に理解し、それを基に、動物園スタッフとして「動物園文化」を構成していく基礎知識を習得する。						
評価方法と基準	講義への出席と定期の考査によって評価する。考査は、あらかじめ配布するテキストに基づく穴埋め式・選択肢付。テキストは試験の現場にも持ち込み可とする。すなわち、事前のテクスト読解もまた学習の一部であることを肝に銘じられたい。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	動物園はどこから来たのか	本講義の目的はもっぱら、近い将来に携わる見込みの動物園の現場で自ら考え学び解決するための緒となる問題意識の喚起にある。教師の中に既に答えがあり、その正解を言い当てることが目指されるといった発想や、短絡的に模範解答を暗記しようとする姿勢は最も忌避されるものである。よって、特に明確な学習課題は示さないが、受講前後に以下の姿勢を保つことを推奨する。 1. 考査のために与えたテキストは暗記のためでなく理解・咀嚼のために複数回自学自習すること。また、参考文献にも積極的に取り組むことが自らの成長につながることを常に念頭に置かれよ。 2. その他、講義内で与えられるハンドアウトの類についても自ら学び、必要に応じて講師に質疑応答を求めること。 3. 毎回の授業後レポートについて、返答可能なものはすべて翌週までに返答を記して返却する。各自がその一週間に自分なりに疑問の解決のための調査・考察を行うべきである。それを前提として、講師からの返答を消化するように努められたい。
2	4月23日	講義	アリストテレスかく語りき	
3	5月7日	講義	ビュフォンからキュヴィエへ	
4	5月14日	講義	市民が歩く動物園	
5	5月21日	講義	南北戦争と動物園	
6	5月28日	講義	花鳥茶屋から動物園へ	
7	6月4日	講義	上野動物園に学ぶ	
8	6月11日	講義	郊外型動物園の展開	
9	6月18日	講義	サファリパークを歩く	
10	6月25日	講義	サル山からテナガザルの森へ	
11	7月2日	講義	動物園と遊園地	
12	7月9日	講義	科学・文化・公共性	
13	9月3日	講義	考査に向けての質疑応答	
14	9月10日	講義	上述の通りのテクストに関する考査	
15	9月17日	講義	考査結果解説	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】教科書は定めない。参考文献は以下の通り。川端裕人・本田公夫(2019)『動物園から未来を変える』亜紀書房、村田浩一ほか編(2014)『動物園学入門』朝倉書店、森由民(2014)『動物園のひみつ』PHP研究所、岩生謙二(2010)『動物園革命』岩波書店、悪村博(2017)『トレーニングという仕事』東海大学出版会。また、動物学全般に関する参考書として、三浦慎悟(2011)『動物の世界』新星出版社。

科目名	動物学概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	菅野宏文
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	学芸員として、現場での動物管理経験あり。また現在は執筆活動を主に行っており、多数著書あり。						
授業の学習内容	動物園・水族館の意義と役割、動物園・水族館に関係する法令、分類と分類学、脊椎動物の生理、生態と飼養動物の飼育環境、生物学史、生命の誕生、進化論、メンデルと遺伝、染色体と遺伝、性と遺伝等。						
到達目標	業界（動物園・水族館・企業等）のニーズに対応出来る深い知識を習得し、更には動物園・水族館の採用試験に対応出来る学力を培う。 動物を管理する上で基礎となる生体の分類や適正な飼育環境を理解する。						
評価方法と基準	出席率・試験成績により判断する。出席率70%以上の学生には2点、80%以上の学生には3点、90%以上の学生には5点、筆記試験に加点する。 筆記試験との合計で、80点以上がA評価、70点以上がB評価、60点以上がC評価で、80点未満がD評価（不合格）となる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4/12	講義	動物園・水族館の意義・役割	本日の講義の復習。
2	4/19	講義	動物の愛護及び管理に関する法律	動物販売時説明書を使用しながら説明練習。
3	4/26	講義	動物の愛護及び管理に関する法律、特定動物	特定動物を予め1種選び調べる。
4	5/10	講義	外来生物法	特定外来動物を予め1種選び調べる。
5	5/17	講義	文化財保護法・国際保護鳥	天然記念動物を予め1種選び調べる。
6	5/31	講義	ワシントン条約及び種の保存法	登録票について説明できる様練習。
7	6/14	講義	分類の概念及びリンネ式分類学	なぜ分類が必要なのか予習を行う。
8	6/21	講義	種の概念・形態学的、生物学的種の定義	本日の講義の復習。
9	6/28	講義	学名、国際動物命名規約、二名法	動物を1種選び予め学名を調べる。
10	7/5	講義	五界説における動物界の各門の概要	生物を5つの界に分けた理由を予め調べる。
11	7/12	講義	最新の分類・古細菌と3ドメインセオリー	五界説の矛盾点について予め調べる。
12	7/19	講義	脊椎動物亜門・哺乳綱の分類	本日の講義の復習。
13	9/6	講義	哺乳類の生理	本日の講義の復習。
14	9/13	講義・試験	期末試験（ペーパーテスト実施）	試験に対する準備を行う。
15	9/20	講義	試験解答及び全過程の総括	理解しにくかった項目を予め調べる。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

飼育ハンドブック等

科目名	動物行動学Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	福田史夫
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	霊長類の調査・研究の第一人者。多数の著書あり。						
授業の学習内容	①この授業を受けることによって動物たちの生態・社会を理解することができ、野生動物保護に関わる知識を得ることができる。②ワイルドライフガイドやナチュラリストガイド、環境アセスメント、エコツアプランニングに行動生態学の知識を応用することできる。③現存の動物たちは生息環境に応じて絶えず進化していることを学んで欲しい。その為に、下記の授業計画・内容で進行する。						
到達目標	動物進化はその動物の生存率と繁殖率が関与し、繁殖率にはそれぞれの動物たちの性行動も関わっている。また、それぞれの動物たちの性行動の応じた社会があることを知り、野生動物保護についての繁殖に関わる基礎的な知識を他の学生に説明できるようになる。						
評価方法と基準	定期試験50%、出席率30%、小テストor宿題提出20%（小テストは前回の授業内容について）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	行動生態学授業のイントロ、行動生態学とは？DVD「性と生命の自然史」を鑑賞	行動生態学の中心テーマが性・進化であることを放課後ネットを調べて学習
2	5月8日	講義	性と繁殖：有性生殖をすることで進化する	有性生殖は子供は親とは異なった遺伝子をもつ、これが進化の原動力となることを復習する
3	5月15日	講義	性行動1、発情を促す要因	温度、湿度などの外的環境要因、さらには社会的事件による生理的変化についてもっと自分で調べる。
4	5月29日	演習	大町実習においてフィールドサインを見つけることができるようになる	長野県大町市に生息している生物について調べておく
5	6月5日	講義	性行動2、誘引行動、異性の視覚に訴えて自分の方に誘引する行動	さらに、どのような誘引行動があるか調べる。
6	6月12日	講義	性行動2、誘引行動の続き（嗅覚や聴覚に訴える）	講義で覚えた動物種だけでなく、他にどんな動物種がいるか調べる。
7	6月26日	講義	性行動3、説得行動：オスがメスを説得する行動と4、宥めと甘えの行動：メスがオスに働きかける行動	ここでは大雑把に4タイプを上げたが、動物種によって様々な説得や甘えの行動がある。それを調べる。
8	6月26日	講義	性行動3、説得行動：オスがメスを説得する行動と5、宥めと甘えの行動：メスがオスに働きかける行動	ここでは大雑把に5タイプを上げたが、動物種によって様々な説得や甘えの行動がある。それを調べる。
9	6月26日	講義	性行動3、説得行動：オスがメスを説得する行動と6、宥めと甘えの行動：メスがオスに働きかける行動	ここでは大雑把に6タイプを上げたが、動物種によって様々な説得や甘えの行動がある。それを調べる。
10	7月3日	演習	みの石滝キャンプ場においてフィールドサインを見つけることができるようになる	神奈川県相模湖に生息している生物について調べておく
11	9月4日	講義	性行動5、性的隔離機構：自然界では近縁種であろうとも交雑は妨げられている。	身近な昆虫や鳥などがどのような隔離機構によって交雑が妨げられているのか皆で話し合ってみよう。
12	9月4日	講義	性行動6、性的隔離機構：自然界では近縁種であろうとも交雑は妨げられている。	身近な昆虫や鳥などがどのような隔離機構によって交雑が妨げられているのか皆で話し合ってみよう。
13	9月4日	講義	性行動7、性的隔離機構：自然界では近縁種であろうとも交雑は妨げられている。	身近な昆虫や鳥などがどのような隔離機構によって交雑が妨げられているのか皆で話し合ってみよう。
14	9月11日	試験	有性生殖と性行動1～4について	
15	9月18日	講義	半年間の振り返りとDVD「性と生命の自然史」	動物たちの性と進化について考えていることを話し合う。
準備学習　時間外学習			下記の本をノートを取りながら読む	

【使用教科書・教材・参考書】

福田史夫著「ヒトの子どもが寝小便するわけ」の中のいくつかの章に性行動を取り上げたものがあるので読んでみよう！

科目名	飼育概論Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	栗原七保子
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	水族館スタッフとして鰭脚類の飼育調教を担当。現在は動物園にて環境教育を担当。						
授業の学習内容	動物園は日本国内では娯楽のための施設として認識されがちだが、種の箱舟としての役割や命ある動物が目の前にいることで実現する実物教育の場、野生動物との共存を目指すための環境教育の実践の場としても、その価値を期待されている。本授業では、日本の動物園が辿ってきた歴史や現在課せられている役割を学び、それぞれの取り組みを具体的に理解出来るように発見する力を身に付けていく。						
到達目標	動物園を訪れる際の様々な知識を身に付けることで、利用する側の市民としての価値を深めると共に、今後の動物園の発展に寄与出来る人材となる。						
評価方法と基準	1）定期テスト60%　2）講義受講態度20%　3）レポート内容20%　の総合判定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	日本の動物園が辿った歴史を説明できる	4つの役割に当てはまる動物園の具体的な取り組みを考えてくる(事前学習)
2	4月24日	講義	現代社会における動物園の役割を説明できる	ワシントン条約について事前に調べる(事前学習)
3	5月8日	講義	動物園に関わる法律について記することができる	分類表記について、動物園の解説パネルを元に具体例を見つけておく(事前学習)
4	5月15日	講義	動物の分類表記を記することができる	動物種1種の具体的な表記を書いてくる(宿題)
5	5月22日	講義	種と亜種の違いを説明できる	自分の好きな動物園の園内見取り図を用意する(宿題)
6	5月29日	講義	動物園の展示の工夫を説明できる	振り返り小テスト記入(宿題)
7	6月5日	講義	動物が感じるストレスの仕組みを説明できる	自分が取るどういった行動が、動物のストレスにつながるのかを考えてくる(事前学習)
8	6月12日	講義	動物のストレス軽減への取り組みを実践できる	飼育動物に出現する問題行動について調べる(事前学習)
9	6月19日	講義	動物福祉の概念について説明できる	環境エンリッチメントとして施される工夫を調べてくる(事前学習)
10	6月26日	講義	動物福祉の概念について説明できる	多摩動物公園について調べる(宿題)
11	7月10日	講義	多摩動物公園ガイダンス 取り組む実習内容について説明できる	自習時に使用するワークシートに沿って予想をたてる(宿題)
12	7月13日	演習	多摩動物公園見学実習 野生動物の個体識別を実践できる	見学内容、実習内容についてレポート提出(宿題)
13	9月4日	講義	試験対策	試験対策をする(宿題)
14	9月11日	講義	試験	
15	9月18日	講義	振り返り、誤解答を説明できる	必要な者は追試対策(宿題)
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

飼育ハンドブック、必要に応じ講師が作製

科目名	飼育概論Ⅱ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	栗原七保子
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	水族館スタッフとして鰭脚類の飼育調教を担当。現在は動物園にて環境教育を担当。						
授業の学習内容	現代の動物園は社会的に期待される役割以外にも、飼育員や関係団体が自ら作り出した目標に向けて様々な努力や試行錯誤が重ねられている。その1つが、動物福祉の理念に重きをおいた、飼育動物のQOLの向上である。本授業では、動物園という現場で働く人たちがどのように動物と向き合い、どのような取り組みを重ねているのか、具体的な実践例と共に紹介し、理解を深めていく。						
到達目標	動物園を訪れる際の様々な知識を身に付けることで、利用する側の市民としての価値を深めると共に、今後の動物園の発展に寄与出来る人材を育成となる。						
評価方法と基準	1）定期テスト60%　2）講義受講態度20%　3）発表内容20%　の総合判定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	飼育室の動物へのエンリッチメントが実践できる	学校の飼育動物に施せるエンリッチメントを考える（宿題、発表）
2	10月9日	講義	飼育室の動物へのエンリッチメントが実践できる	学校の飼育動物に施せるエンリッチメントを改善点を入れながら考える （宿題、発表）
3	10月16日	講義	飼育室の動物へのエンリッチメントが実践できる	まとめたものをレポート提出
4	10月23日	演習	海外研修	海外の動物施設について、事前にエンリッチメント・トレーニングについて調べる
5	10月30日	講義	トレーニングの多様性を説明できる	トレーニングを入れていく手順を考えてくる（事前学習）
6	11月6日	講義	トレーニングの手順を説明できる	トレーニングを入れていく手順を考えてくる（発表）
7	11月13日	講義	ハズバンダリートレーニングについて説明できる	飼育室の動物に必要なトレーニングを考えてくる（宿題）
8	11月20日	講義	ハズバンダリートレーニングの実践方法を説明できる	具体案を考えレポート提出（宿題）
9	11月27日	講義	動物園での繁殖に向けた取り組みについて　説明できる	動物園での繁殖事例を調べてくる（事前学習）
10	12月4日	講義	動物園での繁殖に向けた取り組みについて　説明できる	今後の動物園の繁殖状況について調べてくる（事前学習）
11	12月11日	講義	動物園での繁殖に向けた取り組みについて　説明できる	ここまでの振り返り（宿題）
12	12月18日	講義	動物園での飼料選出の条件を説明できる	小テスト記入（宿題）
13	1月15日	講義	動物園での飼料選出の条件を説明できる	小テスト提出
14	1月22日	講義	試験	
15	1月29日	講義	誤解答について説明できる	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

飼育ハンドブック

科目名	動物の健康管理　Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	岩田光一
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	獣医師・学芸員の資格を活かし、動物園では園長を務めた経験もあり。						
授業の学習内容	動物の生理、形態（解剖学的）、飼料などを中心に基本的な部分を中心に一年を通して学びます。動物による比較や人間との比較も動物園やそこで働くスタッフの意義やいくつかの動物園の写真を見ながら解説を行う。						
到達目標	一年の講義にて動物の体の基礎を学ぶことにより動物を飼育する際に応用できるようにする。基本を知ることにより動物の異常をより早く発見できるようにする。 動物を取り扱う者として飼育技術知識の習得やその説明などができるようにする。 またこれによりどういった展示をし、どんなスタッフになるかを考えられる基本を作っていく。						
評価方法と基準	定期試験ト100% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月11日	講義	動物園はみんなにとってどんな所？動物園での仕事は？動物園についての授業って？	自身が思う動物園像や自身の夢などをいつでも話せるように整理しておいて下さい。（年間を通して）
2	4月18日	講義	（公社）日本動物園水族館協会とは？	
3	4月25日	講義	動物に関する社会的環境	
4	5月9日	講義	生理学とは？生体の構成や基本的生命現象について	
5	5月16日	講義	動物の体（骨格での動物比較や人間との違い）	
6	5月30日	講義	神経（中枢神経と末梢神経）と筋肉（骨格筋、平滑筋、心筋）	
7	6月13日	講義	血液（成分、役割、血液型など）ならびに血液循環について	
8	6月20日	講義	消化について（口腔内消化、胃内消化）	
9	6月27日	講義	消化について（小腸内消化、大腸内消化）	
10	7月11日	講義	胸腔内臓器、腹腔内臓器、肝臓と腎臓の機能	
11	7月18日	講義	体温について	
12	8月29日	講義	前期講義まとめ	
13	9月5日	講義	前期講義まとめ	
14	9月12日	試験		
15	9月19日	講義	試験解説	
準備学習　時間外学習			動物の生息地の環境（気候、地形、文化など）を意識し博物館や植物園などにも行ってみて下さい。	

【使用教科書・教材・参考書】

新飼育ハンドブック動物園編 1～5

科目名	動物の健康管理Ⅱ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	黒葛原真実
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼Ⅱ1年						
教員の略歴	ドルフィントレーナーとしてふれあい施設に勤務し、現在はダイビングショップ・潜水作業を行う会社を運営している。						
授業の学習内容	①水族館等で扱われている海洋哺乳類について知り、その生態や特徴、飼育管理に必要な事を学び理解することができる。 ②水族館、ふれあい施設をはじめその他マリン業界や動物園業界等様々な方向性の中でどのように自分は関わりたいのか、その上では何が必要なのかを見極め、考えていくことができる。 ③授業手法は主に「講義」「筆記」「映像鑑賞」「オリエンテーション」で展開。						
到達目標	①水族館やふれあい施設等において動物の飼育・管理に関わる上で、扱われている海洋哺乳類の基礎的な生態、 健康管理に必要な知識を中心に身につけ実践に役立てることができる。 ②水族館・マリン業界を始め、海に関わる仕事内容を知り理解することができる。 ③座学や業界実習を重ね、二年時に上がる上である程度の方向性を確立できる。 ④『人前で話す力、人に伝える力などのコミュニケーション力 』 を身につける。						
評価方法と基準	定期試験　60%　　出席率　40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	授業の概要・目的説明・目標設定・自己紹介	/最も印象に残った自己紹介
2	4月23日	講義	海洋哺乳類に関わる仕事を考える・知る	どんな仕事があるかノートに書く/最も興味を持った仕事について調べる(業務内容、年収、なるために必要なこと、資格等)
3	5月14日	演習	伊豆実習	ホイッスル練習/レポート
4	5月21日	講義	海の哺乳類Ⅰ(鯨類)について理解できる	好きな鯨類一種をイラストで描く/ミニテスト
5	5月28日	演習	スキンダイビングの習得ができる	目標設定/振り返り
6	6月4日	講義	海の哺乳類Ⅱ(鰭脚類)について理解できる	好きな鰭脚類一種をイラストで描く/ミニテスト
7	6月11日	講義	海の哺乳類Ⅲ(海牛類)について理解できる	好きな海牛類一種をイラストで描く/ミニテスト
8	6月18日	講義	海の哺乳類Ⅳ(その他の海洋哺乳類) について理解できる	日本の水族館で飼育されているその他の海洋哺乳類を調べ書く/ミニテスト
9	6月25日	講義	海の鳥類について理解できる	好きなペンギン一種をイラストで描く/ミニテスト
10	7月2日	講義	餌料について理解できる①	サバ・アジ・サンマ・ホッケ・シシャモを見分ける /上記の魚一種以上を食す、できれば丸魚を見る、触る
11	7月9日	講義	餌料について理解できる②	前回の課題の感想・まとめ/ミニテスト
12	7月16日	講義	初期飼育について理解できる①	水族館に来るまでの経緯を調べる/まとめ
13	9月3日	講義	初期飼育について理解できる②	イルカの輸送方法を調べる/まとめ
14	9月10日	試験		試験範囲の学習/まとめ
15	9月17日	講義		分からなかったところの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次		担当教員	
		授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 （単位）	（　　）		
学科・コース							
教員の略歴							
授業の学習内容							
到達目標							
評価方法と基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	オリエンテーション		/最も印象に残った自己紹介
2	4月23日			
3	5月7日			調べる(業務内容、年収、なるために必要なこと、資格等)
4	5月14日			
5	5月21日			
6	5月28日			
7	6月4日			
8	6月11日			
9	6月18日			日本の水族館で飼育されているその他の海洋哺乳類を調べ書く
10	6月25日			
11	7月2日			
12	7月9日			
13	9月3日			
14	9月10日	試験		
15	9月17日	振り返り		
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	水族館研究　Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木倫明
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二2年	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	多数の水族館で幅広い生体の飼育・展示経験を持つ。水族館の館長を務めた経験もあり。						
授業の学習内容	本コースの受講学生の多くは、水族館への就職を希望していると思われる。ひとくちに水族館といってもその内容は「社会教育」を目的としたものから「アミューズメント施設」としての性格を強く押し出したもの、また設置者も「自治体」から「民間企業」あるいは「大学」など多様である。そうしたなか、2005年に「水族館学（著者：鈴木克美、西源二郎）」さらに2010年には同著者により「新版・水族館学」が刊行された。これらの書籍の内容をベースに「水族館」について多角的に勉強する。						
到達目標	水族館への就職を希望する動機は様々であろうが、多くは観覧者の立場によるものだったと思われる。講義を通して得られた知識により、水族館を「管理」する側（情報の提供者）としての自覚を持ち、「水族館」の存在意義および自分が飼育展示業務に携わることの意味を再認識する。						
評価方法と基準	・期末試験（80%） ・出席率（10%） ・授業態度（10%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	オリエンテーション：前期授業の進め方	
2	同上	「水族館学総論：水族館と博物館の共通点・相違点・他」が理解できる	「配布資料」を再読し理解を深める
3	同上	「水族館の歴史（1）：欧米の水族館の歴史」が理解できる	同上
4	同上	「水族館の歴史（2）：日本における水族館の歴史」が理解できる	同上
5	同上	「社会との関連（1）：野生動物保護・生涯学習・地域振興」が理解できる	同上
6	同上	「社会との関連（2）：研究所、動・植物園などとの関連」が理解できる	同上
7	同上	「水族館を通しての自然理解（1）：日本人の自然観・他」が理解できる	同上
8	同上	「水族館を通しての自然理解（2）：自然保護・種の保全」が理解できる	同上
9	同上	「水族館資料（1）：資料としての水族館」が理解できる	同上
10	同上	「水族館資料（2）：資料と解説」が理解できる	同上
11	同上	「水族館資料（3）：標本の作成と保存」が理解できる	同上
12	同上	講義のまとめ（1）：「総論」から「社会との関連」までが理解できる	同上
13	同上	講義のまとめ（2）：「自然理解」から「水族館資料」までが理解できる	同上
14	試験	ペーパーテストの実施	
15	振り返り	解答・解説・前期の総括	
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

「自作配布資料」・「 水族館学、新版水族館学（東海大学出版会）」・「新・飼育ハンドブック水族館編1～5（日本動物園水族館協会）」・その他

科目名	ドルフィントレーニング　Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐伯宏美
		授業形態	講義	総時間（単位）	45 1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴							
授業の学習内容	ドルフィントレーナーに必要不可欠である水族館での実質的な飼育・調教・展示について理解・習得す 「イルカの行動と管理」「動物の体のしくみ」「動物の健康管理」の講義とリンクするが、当講義ではトレーニング理論のみならず、実際の飼育・調教・展示を行う現場での目線で講義を展開する 特にトレーニングは言葉だけの理解ではなく動物に応用できる考え方を身につけることにより、知識だけの頭でっかちではなく、目の前にいる動物の気持ちを考え動物目線で見られる感性を持った人材となり、動物から学ぶ姿勢を身につける						
到達目標	水族館における鯨類の飼育現場で求められる知識・技能を習得し、人間（自分）本位で押し付けるのではなく動物の立場に立って考えることのできる人材になる また、様々な事象に対してその場の対処方法だけを覚えるのではなく、原因を追究し考えかたを理解することでどのような事態にも対応できる人材となる						
評価方法と基準	1）定期テスト　60% 2）授業態度及び出席率　　40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	授業の概要・目的説明、各自の目標確認または設定・共有する イルカについて基本的な生態・形態などを理解することができる （イルカとは）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
2	4月19日	講義	水族館の仕事「飼育・調教・展示・調査研究」の理解、社会的機能である教育・レクリエーション・自然保護・研究の必要性を理解することができる （水族館の意義と仕事）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
3	4月26日	講義	イルカの捕獲～命を閉じるまでの飼育10項目について、それぞれの内容を知ることにより飼育とはどんなことかを知ることができる （飼育業務Ⅰ）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
4	5月10日	講義	飼育の基本事項①水②種③餌料④管理についての重要性を理解し各項目の概要を理解できる （飼育業務Ⅱ）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
5	5月17日	講義	飼育の心構え（精神論を含め）を知ることができ イルカ類の飼育・管理・観察要点を知り健康管理（異常発見）の概要を知ることができる　（飼育業務Ⅲ）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
6	5月31日	講義	（1B）なぜトレーニングが必要なのかを理解できるとともに、トレーナとしての資質条件を知る　（イルカトレーニング基礎編） （1A）大島ダイビング実習　未体験の海を知ることができる	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
7	6月14日	講義	パフォーマンスの教育的メリットを理解しパフォーマンスを行う上での心構えを学ぶことにより意識を高めることができる（展示・パフォーマンス）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
8	6月21日	講義	（1A）なぜトレーニングが必要なのかを理解できるとともに、トレーナとしての資質条件を知る（イルカトレーニング基礎編） （1B）大島ダイビング実習　未体験の海を知ることができる	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
9	6月28日	講義	トレーニングに必要な条件付けについて理解することができる 条件付けの基本を知り原理を理解する（レスポンデント条件付け）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
10	7月5日	講義	トレーニングに必要な条件付けについて理解することができる オペラント条件付けにおける正・負の強化、正・負の罰を理解する （オペラント条件付けⅠ）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
11	7月12日	講義	トレーニングに必要な条件付けについて理解することができる 弁別刺激と強化子を理解し三項随伴性の流れを知る（オペラント条件付けⅡ）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
12	7月19日	講義	条件付けにおける強化子をより理解し、餌以外の強化子の有効性について知ることができる（二次性強化子）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ　資料化
13	9月6日	前期まとめ	前期の重要事項の復習を行うことにより、より深く理解することができるようになる 併せて試験範囲の提示も行いより意識を高めることができる	
14	9月13日	試験		
15	9月20日	振り返り	試験問題に関する解説を行うことでより理解度を深め、トレーニング理論を再認識することができる	
準備学習　時間外学習			準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所を熟読することにより講義内での理解度を深め 時間外学習(学習課題)；講義内容を自らまとめることにより個人の参考資料化を図る	

【使用教科書・教材・参考書】
日本動物園水族館協会発行「新ハンドブック水族館編」
・東海大学出版会「水族館の仕事」・東海大学出版会「海獣水族館」・ニ瓶社「うまくやるための強化の原理」 他
随時学生に紹介する

科目名	ドルフィントレーニング Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐伯宏美
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二2年	授業 形態	講義	総時間 （単位）	45 1		
教員の略歴							
授業の学習内容	水族館における「素晴らしい展示」には「よい調教」が必要であり、よい調教を行うには「よい飼育」を行い健康な動物を確保することが必要であることから、すべてにおいて「飼育」が基本となる 飼育の重要性を十分に理解し、水族館での鯨類の実質的な飼育について知り理解する 「水族館学」「海洋哺乳類」とリンクするが、当講義では飼育10項目を含む飼育の要点である①水②種③餌料④管理を軸に現場目線で講義を展開する						
到達目標	飼育現場で求められる知識を身につけることを目的とし、人間（自分）本位で押しつけるのではなく動物の立場に立ち動物目線で思考することができること、飼育に関する様々な事象に対して常に考え動物から学ぶ姿勢を持つことなど目の前にいる動物の気持ちを考え飼育管理ができる感性を持った人材になる						
評価方法と基準	1）定期テスト 60% 2）授業態度及び出席率 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月12日	講義	授業の概要・目的説明、鯨類の飼育について基本的な考え方を伝えることにより今後の学習内容を把握することができる （飼育とは）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
2	4月19日	講義	飼育設備の概要を学ぶ 水槽設備・飼育水の管理・濾過循環システムなどの概要を知 水−① 施設管理（概要）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
3	4月26日	講義	水槽設備について水槽形状・防水・ガラス・ディスプレイ・照明など水族館ならではの特性を知り飼育の側面だけではなく展示についてもその重要性を学ぶ 水−① 水槽設備	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
4	5月10日	講義	鯨類の飼育の大きな要素である飼育水の管理を学ぶ 取水方法と様々な濾過循環設備の原理を理解する 水−③ 飼育水の管理 取水設備とろ過循環設備	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
5	5月17日	講義	プール用薬品注入における水族館の特殊性を知り、その必要性を理解するとともに、薬注機器の原理を知り管理できるようにする 水−④ 飼育水の管理 プール用薬品と薬注ポンプ	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
6	5月31日	講義	飼育鯨類の自然界における生息環境で重要である温度調節ついてその必要性と原理を理解する 水−⑤ 飼育水の管理 温度調節装置	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
7	6月14日	講義	水族館における電気の重要性を知るとともに非常時の対応（動物・施設・運営）を学 水−⑥ 電気設備 非常用発電設備と自家発電設備	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
8	6月21日	講義	日本での飼育鯨種を知り、それらの同定方法を学ぶ 自然界でイルカに遭遇した時に識別できるようにする 種−① 鯨類の同定方法（見分け方）	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
9	6月28日	講義	鯨類の収集に関する法令を知る イルカ類の捕獲方法、入手方法を知るとともに入手可能な鯨種を認識する 種−② 収集に関する法令と捕獲・収集方法	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
10	7月5日	講義	野生鯨類の選別・畜養・輸送について知る 種−③鯨類の輸送	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
11	7月12日	講義	搬入直後のイルカの初期飼育の基本である馴致について学ぶ 種−③初期飼育・馴致と調教	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
12	7月19日	講義	ストランディング・迷入・混獲の多い鯨種を知り対応方法を知る 種−⑤ストランディング個体の対処方法	準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所の熟 時間外学習(学習課題)；講義内容のまとめ 資料化
13	9月6日	前期まとめ	前期の重要事項の復習を行うことにより、より深く理解することができるようにな 併せて試験範囲の提示も行いより意識を高めることができる	
14	9月13日	試験		
15	9月20日	振り返り	試験問題に関する解説を行うことでより理解度を深め、飼育環境管理の大切さ、飼育動物の入手や取扱を再認識することができる	
準備学習 時間外学習			準備学習：次回講義の飼育ハンドブック該当箇所を熟読することにより講義内での理解度を深め 時間外学習(学習課題)；講義内容を自らまとめることにより参考資料化を図る（次回講義終了時に全講義内容を確認）	

【使用教科書・教材・参考書】
日本動物園水族館協会発行「新ハンドブック水族館編」
1～5・東海大学出版会「水族館の仕事」・東海大学出版会「海獣水族館」・ニ瓶社「うまくやるための強化の原理」 他
随時学生に紹介する

科目名	魚類研究Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	土屋俊朗
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	水族館勤務を経て、現在はショップ店長や水草直輸入工房も経営している。						
授業の学習内容	ショップで扱われる海水魚は主に熱帯性の種が多いが、それぞれの特性や飼育、販売時の違いを知らなくてはならない。 各々の特性を覚え、飼育販売に備えてほしい。						
到達目標	淡水魚との飼育、販売上の違いを理解し飼育、説明、販売ができるようになる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4/15	講義	魚の体や名称、どのような種がいるか覚える。	魚種による各部位の名称変化を調べる。
2	4/22	講義	魚の体や名称、学名や記載論文を理解する。	記載論文を読み理解する。
3	5/13	講義	淡水魚との生理の差を理解し飼育できるようにする。	汽水魚について調べておく。
4	5/20	講義	淡水魚との器材の差を理解し飼育できるようにする。	販売されている人工海水について調べておく。
5	5/27	講義	ロクセンヤッコ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
6	6/3	講義	*Holacanthus*属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
7	6/10	講義	シテンヤッコ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
8	6/17	講義	キンチャクダイ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
9	6/24	講義	タテジマヤッコ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
10	7/1	講義	アブラヤッコ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
11	7/8	講義	チャイロヤッコ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
12	7/22	講義	チョウチョウウオ属の差を理解し、区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
13	9/2	講義	チョウチョウウオ属以外のチョウチョウウオ科の区別、飼育できる。	授業で紹介できなかった同属の魚を調べる。
14	9/9	試験	上記内容を理解できているかの筆記試験。	試験の準備。
15	9/16	講義	前期を振り返り、ウィークポイントを無くす。	試験の答えを調べる。
準備学習　時間外学習			テキストは無いため、予習はインターネットや飼育書を参考にする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イルカの行動と管理 Ⅰ	必修/選択	選択	年次	1年	担当教員	山本聡
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	主にイルカの言語理解能力とザトウクジラの歌の機能を主に研究する。同時に海洋哺乳類のトレーニングと健康管理についての技術を習得。現在は一般社団法人海洋哺乳類エデュケーションセンターの代表理事。 International Marine Animal Trainers AssociationのProfessionalメンバー。						
授業の学習内容	この受業は海洋哺乳類のトレーニングを行ううえで絶対に理解し、知っていなければならないトレーニング理論とトレーニング技術について学ぶ。授業で学ぶ内容は海洋動物の飼育・トレーニングでは国際的に最も権威のあるInternational Marine Animal Trainers Associationが過去半世紀に渡って築き上げてきたトレーニング理論・技術にもとづいたものであり、その有効性は実証ずみのものである。コースカリキュラムにおける位置づけ：海洋哺乳類の飼育・トレーニングについて知らなければならないことは多岐に渡る。したがってその全てをヒトコマの授業で学生に教えることは出来ない。学生はこの受業とともに「動物の健康管理」、より実践的な海洋哺乳類哺乳類トレーニングについての授業である「ドルフィントレーニング1」、海洋哺乳類の生物学について学ぶ「イルカの歴史」といった授業を学ぶことで海洋哺乳類の飼育・トレーニングについての包括的な知識を獲得し、多面的な考え方ができるようになる。学生に対する期待：授業の内容について良く考え（具体的な例など）、興味を持ったことや、疑問に思ったことについて調べる、また積極的に質問をするといった態度を獲得してもらいたい。						
到達目標	この授業の主な到達目標は次の6項目である。① 毎回の授業内容を正確に理解し記憶する。この最大重要目標を達成するために、②～⑥の目標が出来る限り達成されなければならない。② 授業の内容について興味を持ったこと、疑問に思ったことについて調べることを習慣づける。③ 授業の内容をただノートにとるのではなく、個々の内容について良く考え、良くわからないことや疑問に思うことを積極的に質問するようになる。④ 授業の内容について要点をおさえ、ノートに自分の言葉でまとめることができるようになる。⑤ 論理的な思考ができるようになる。⑥ 整合性のある、他者が読んで意味の通じる、日本語として成立する文を書けるようになる。特に⑥は知識の体制化を促し、授業で学んだことを記憶として定着させるために必須の事項である。						
評価方法と基準	1）定期テスト80% 2）出席数20% 試験の評価はS→A→B→C→Fの5段階評価。評価段階はテストの点数によってS＝100~90、A＝89-80、B＝79-70、C＝69-60、F＝59-0とする。目標としては全ての学生が試験においてA以上になる点数を取ること。或いは少なくともC以下の評価となる点数を取る学生が出ないようにする。						

授業計画・内容				
回数		授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の受け方などを説明する。学生の進路希望などをヒアリングし、コメントやアドバイスをする。	準備学習：なぜ海洋哺乳類のトレーナーになりたいのか、自分の卒業後の進路希望について具体的に説明できるようにする。 時間外学習：専門学校での2年間の目標と卒業後の進路について他の学生の考えや講師のコメントをふまえて考える。
2		講義	なぜ飼育下にある動物をトレーニングする必要があるのか、その主な理由を重要度順に5つ説明できる。	準備学習：犬や馬、猛禽類などではどのようなことをトレーニングするのか調べる。トレーニングとは動物に芸や技を教えることではないことを認識する。 時間外学習：まとめノートを作成する。
3		講義	エンターティメントに重点をおいたイルカやアシカのショーがなぜ重要かを説明できる。	準備学習：YouTubeで国内外のイルカやアシカのショーの動画を閲覧し、ショーを通じてどのようなメッセージや情報が発信されているかについて調べる。 時間外学習：YouTubeでエンターティメントとして優れた海外のイルカやアシカのショーを探し、日本のショーとの違いを考える。
4		講義	トレーナーは動物のトレーニング以外にどのようなことをしなければならないか、動物の為にどのようなことをしなければいけないかを説明できる。	準備学習：トレーナーは毎日どのような仕事をし、動物たちのためにどのようなことをするのかを水族館のHPやFacebook、トレーナーのブログなどを読んでまとめる。 時間外学習：論文『動物との関係づくり』を読み、トレーナーとしてすべきこと、動物のためにすべきことについてまとめる。
5		講義	動物の行動は何よって誘発されるのか、動物はどんな行動をするかをどのように決めるのか、動物は自分のした行動から何を学ぶのかといった、行動のプロセスを説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
6		実習	オープンウオーターダイバーライセンスを取得する。	
7		講義	反射と反応の違いを説明でき、本能的な行動の具体的な例を3～4解説できる。無条件刺激と無条件反応について正しく定義することが出来る。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
8		講義	条件刺激がどのように形成されるか説明できる。3種類の条件反応について説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
9		講義	ブリッジが条件刺激であることを理解しているうえで、ブリッジにはどのような機能があるかを説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
10		講義	オペラント条件付けとはどのような学習か説明できる。弁別性刺激とはどのような刺激か説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
11		講義	正の強化と負の強化について説明できる。なぜ負の強化が動物のトレーニングに適さないかを説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
12		講義	正の罰と負の罰について説明できる。なぜ罰を動物のトレーニングやしつけで使うべきではないかを説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
13		講義	正の強化子と負の罰子、負の強化子と正の罰子が本質的に同じものであること、それがなぜ強化子になったり罰子になったりするのか説明できる。	準備学習：課題レポート、時間外学習：まとめノート作成
14		試験	前期に学習したことについて、学生の学習度・理解度を評価する。	準備学習：前期で学んだことを項目（内容）別ににまとめ直し、各授業で学んだ項目について記述説明できるようにする。 時間外学習：試験で答えられなかったこと、解答に自信のないことについて調べる。
15		試験	試験の解答についての解説。学生が誤解して理解している事項については正しく理解できるように説明する。	時間外学習：試験の点数に関係なく自分の答えらなかった事項について調べる。自分の解答文が他人が読んでも理解できる文になっているかどうか添削し書き直し修正をする。
準備学習	時間外学習		準備学習では講師が次週までに調べておくようにと指定した事項についてインターネットなどで調べる。この作業を通して信頼できる情報ソースとそうではないソースを判別する眼を養う。時間外学習ではその日の授業の内容で自分が興味を持ったこと、疑問に思ったこと、良くわからなかったことについて調べる。さらに授業のノートと自分で調べたことにもとづいて自分なりのノートを作成する。こうした作業を通じて自主的に調べる習慣を身につけ、まとめる力をつける。	

【使用教科書・教材・参考書】 特になし。必要に応じて参考図書や参考文献を学生に案内をする。

【備考・注意事項】 事前課題や授業後課題のためにインターネットを使って調べたときは調べたサイトのURL、書籍で調べたときは調べた書籍の著者、出版社、出版年の記録を取っておくこと。特にレポートを提出する場合にはレポートの最後に参考文献としてこれらを列挙記載すること。

科目名	ライフセービングⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	原島大樹
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	ダイビング機材ショップスタッフを経験。現在は、サーフィンスクール代表取締役を務める。						
授業の学習内容	フィールドガイド、インタープリターとして活動する際に起こりうる怪我や病気、事故に備えることの出来る授業である。 突然意識を失う、心臓発作で倒れる、呼吸できない状態になっているなど重篤な場合にも対処できるよう応急救護の基本となる知識と技術を覚える。お客様の安全管理と自己の安全管理が出来るようになるには必須の授業である。 授業は基本的には講義だが、人工呼吸、心臓マッサージ、包帯を使用するなど実技も交える。						
到達目標	自己の安全管理とお客様の安全管理が出来るように応急救護の基本を覚える。 CPR（人工呼吸、心臓マッサージ）が出来るようになる。 ファーストエイドが出来るようになる。 病気と怪我の評価が出来るようになる。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 再試験は公欠が認められた物のみ対応する。 追試験1回を行い、採点結果によっての評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	前期の授業内容を説明し当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することが出来る。	入学前オリエンテーションにおける3つの習慣の理解と個人目標の策定。持参品の確認。
2		講義	テキストの紹介と認定書の紹介。学習のヒント。救助者としての心構えについて理解する。	テキスト1-3から1-27までの熟読と理解を深める。
3		講義	救命の連鎖。生命に関わる問題を見分ける。 1次評価と1次ケアについて理解する。	小テストを行い理解を深める。
4		講義	CPRについて理解する。AB－CABS、AED、激しい出血、ショック、脊髄損傷について理解する。	テキスト1-30から1-41までの熟読と理解を深める。
5		講義	1次ケアと1次評価。 怪我と病気の違い。症状と兆候の違い。普通とは？について理解する。	小テストを行い理解を深める。
6		講義・演習	現場の評価。バリアの使用。気道確保が出来るようになる。	友人や家族と役割分担をしてシナリオ練習。　枕など適度な大きさのもので利用してCPRの手順を一通り復習する。
7		講義・演習	胸部圧迫、人工呼吸が出来るようになる。	
8		講義・演習	胸部圧迫、人工呼吸、その組み合わせが出来るようになる。	
9		講義・演習	胸部圧迫、人工呼吸、AEDを組み合わせることが出来るようになる。	
10		講義・演習	激しい出血の管理。ショック、気道閉塞、に対処出来るようになる。	
11		講義・演習	怪我の評価と病気の評価が出来るようになる。	
12		講義・演習	包帯と副木、三角巾が使えるようになる。	
13		講義	ヘビ、昆虫など生物に刺された時の対処法を理解する。	試験範囲からの予習と対策。
14		試験	60分の筆記試験	
15		講義	テスト結果から振返りを行うことで、気象、安全管理についての理解を深める。	試験範囲からの復習とマニュアルの熟読。
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】　エマージェンシーファーストレスポンス　テキスト

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	ライフセービングⅡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	原島大樹
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	ダイビング機材ショップスタッフを経験。現在は、サーフィンスクール代表取締役を務める。						
授業の学習内容	フィールドガイド、インタープリターとして活動する際に起こりうる気象について学び、自己の安全管理は基より、お客様の安全管理が出来るようになる。 授業は座学が中心ですが、今日の天気や雲などを観察して観天望気も学習する。						
到達目標	自然環境における気象面について学び、安全管理とリスクマネージメントの基本を理解出来るようになる。 風や雲、空を見て観天望気を行うことが出来るようになる。 天気図を確認して天候の予想が出来るようになる。 天候の変化の兆候を見極め、起こりうる自然現象の判断が出来るようになる。 山歩きの基本的な技術と装備が出来るようになる。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 再試験は公欠が認められた物のみ対応する。 追試験1回を行い、採点結果によっての評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	後期の授業内容を説明し当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することが出来る。	個人目標の策定。持参品の確認。
2		講義	気圧、風について理解する。	テキストの熟読を行い深く学ぶ。 ガイドとしての身構えと気構えを意識することで、実際の生活の中で、学習した知識と技術を活用することが出来る。
3		講義	天気図と等圧線について理解する。	
4		講義	風について理解する。（風速と風力。季節風、局地風）	
5		講義	強風注意報と暴風警報、竜巻について理解する。	
6		講義	潮汐と海流について理解する。(潮位と潮差)	
7		講義	波と離岸流、太陽と気温と海水温、台風と高潮について理解する。	
8		講義	空から降ってくるもの。雨、雪、氷について理解する。雲について十種雲形を理解する。	
9		講義	雷の仕組み、夕焼けの仕組み、霧っと靄の違いについて理解する。	
10		講義	季節ごとの天気図について理解する。	
11		講義	山歩きの基本と歩行中の危険対処(ザレ場、ガレ場、沢筋、岩場、鎖場、ロープ場)を理解する。	
12		講義	天候変化に対応するための装備について理解する。	
13		講義	自然災害時、道に迷った時の対処法について理解する。	
14		試験	60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15		講義	テスト結果から振返りを行うことで、気象、安全管理についての理解を深める。	試験範囲からの復習とマニュアルの熟読
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。	

【使用教科書・教材・参考書】 風と波を知る101のコツ　ステップアップ登山術

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水槽レイアウトⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	早坂誠
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	ペットショップの店長。水草レイアウトや観賞魚水槽の制作・管理を行う企業の代表としても活躍中。						
授業の学習内容	近年、自然環境を保全・維持する目線から、また癒しの空間を求めることが多くなったことにに伴い、水草が美しく管理・育成された水槽の需要が高まっている。個人宅はもちろんのこと、銀行や病院さらには水族館でも水草レイアウト水槽が展示されるようになり、その技術者が求められる時代となった。 また、飼育用品基礎で学ぶ知識がこの授業でも多くの商品にかかわり合うために必要となること、制作工程において必要となる生体に対しても淡水魚研究が役立つ。この授業では、座学と共にレイアウト実習を通して水草レイアウト水槽のプロフェッショナルを目指す。実際に生物を使用するため内容に変更が出る場合がある。						
到達目標	閉鎖的水槽空間で、天然素材を使用してレイアウト構図を創ることが出来るようになる。 水草育成に最適なろ過システムの仕組みを学び、実際に使用できるようになる。 水槽内での水草育成において二酸化炭素の必要性を学び専用添加器具を実際に使用できるようになる 水草が育成する最良の水質を学び、水槽内で調整できるようになる 水草レイアウトの管理を行うことで、水槽管理の長期維持が出来るようになる						
評価方法と基準	小テスト20% 定期試験80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　同試験内容の実施、提出をもってCの評価とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	半期の授業内容を説明、当科目の最終目標の見本を画像を見ながら今後の授業を理解することができる。	水槽管理時に使用するホースの巻き方を実践・習得する。
2	4月25日	講義	水草水槽の全体的な循環とシステムの仕組みを理解することができる。	各自システムをイラストを含むレポート提出で授業内容の再確認する。
3	5月9日	演習	グラスアクアリウム制作（石・流木などの天然素材での構図制作）を通じて、構図を理解し、実際の水槽レイアウト制作に反映することができる。	グラスの選択と事前の構図案の制作
4	5月16日	演習	グラスアクアリウム制作（水草植栽）を通じて、構図を理解し、実際の水槽レイアウト制作に反映することができる。	前回授業からの構図修正案と水草植栽のイメージデザインを事前制作
5	5月30日	講義・演習	外部式フィルターの仕組みと名称を理解して、設置から定期的な清掃・トラブル時の対応が出来る。	水草水槽のススメ内、外部式フィルターの項目を事前予習。アクアルームでの可動状態の確認
6	6月13日	講義・演習	二酸化炭素添加装置の必要性と仕組みを学び実際に使用することができる。	水草水槽のススメ内、二酸化炭素添加器具をイラスト記載提出
7	6月20日	講義	水草育成に必要な光の質と光量について理解することができる。	光の色に対してのケルビン値を事前把握する。現在ある、観賞魚用照明器具の数値を表にまとめる
8	6月27日	講義	水草の進化と分布拡散・遺伝的構造・保全について学び、どのような過程で水草が進化したか理解することができる。 国立科学博物館田中法生先生講義	水草水槽のススメ内、水草図鑑の内容を理解、学名や特徴などの把握をおこなう。
9	7月4日	講義	水草育成に対して、底床素材の種類と特徴、使用方法を説明できる。	水槽レイアウトの班分けを決定
10	7月11日	講義	水生植物必要な栄養素と添加方法を学び実践できる。	制作する水草レイアウトの参考見本の収集
11	7月18日	演習	水草レイアウト構図をイラストや文章などを用いて記することができる。	班ごとのレイアウトデザインの準備と修正・素材の収集
12	8月29日	演習	決定した構図を水槽レイアウトに反映することができる	素材の選択と使用水草の準備を行う。
13	9月5日	演習	専用器具を使用して水草の植栽が実践できる。	水草植栽とレイアウト制作を時間外授業にあてる。
14	9月12日	講義・試験	テスト内容の予習・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	9月19日	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、水草レイアウトの制作・管理方法の理解を深める	試験範囲からの復習と教科書を再理解するための熟読。
準備学習　時間外学習			事後学習を通じて深く学び、準備学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。	

【使用教科書・教材・参考書】　＊指示した時のみスマートフォンなどの端末での検索を許可する。

教科書「水草水槽のススメ」 参考資料「デュプラジャパン理想的な水槽」

科目名	水槽レイアウトⅡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	早坂誠
		授業形態	講義・演習	単位	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	有限会社コデラペットショップ店長 /有限会社エイチ・ツー代表取締役/渋谷店舗Sensuous代表						
授業の学習内容	長期にわたっての水槽管理は観賞魚業界・水族館運営にとって最も大切な技術の一つになります。この授業は観賞魚飼育技術。水草育成技術のさらなるレベルアップをはかるとともに水槽長期維持におこる様々な問題点を掘り下げて解決していけるように学びます。また、多くの器具を使用して管理技術を習得するため、飼育用品基礎の授業で学ぶ知識が、この授業でも必要になります。水族館や観賞魚業界の即戦力となれるよう学習してください。授業は座学とともに大型水槽の管理実習を行い管理の正しい方法を学びます。　　実際に生物を使用するため内容に変更がある場合があります。						
到達目標	観賞魚飼育・水草育成水槽を長期にわたって維持管理を行えるメンテナンス作業を習得することができる。　　淡水水槽・海水水槽での藻類発生の原因を理解し、予防する技術、除去する技術を習得できる。　　水槽で起こりうる様々なトラブル問題、原因を理解して、対策を事前に行う技術・修繕する技術を習得することができる 水草育成・サンゴの育成について正しい知識を理解することができる。						
評価方法と基準	小テスト20% 定期試験80% 筆記試験評価:GPA(S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　同試験内容の実施、提出をもってCの評価とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	半期の授業内容を説明、当科目の最終目標の見本を画像を見ながら今後の授業を理解することができる。	実際の水槽管理時に起こった事例と解決方法のレポート提出
2	4月25日	講義	水槽内で起こる白濁の原因を理解し予防と改善方法を述べることができる。	アクアルームにおいて水草水槽管理を実践することで時間外学習に充当する。
3	5月9日	演習・実技	グラスアクアリウム制作(石・流木などの天然素材での構図制作)を昨年同様実施。構図の理解力をさらに深め実際の水槽レイアウト制作に反映できる。	グラスの選択と事前の構図案の制作
4	5月16日	演習・実技	グラスアクアリウム制作(水草植栽)を昨年同様実施。構図の理解力をさらに深め実際の水槽レイアウト制作に反映できる。	前回授業からの構図修正案と水草植栽のイメージデザインを事前制作
5	5月30日	講義	水草レイアウト水槽においての藻類発生原因を理解して、防止策・予防策、改善策が実践できる。	実際に経験した藻類の発生原因と改善策のレポート提出
6	6月13日	講義	水槽で起こる多種の水漏れ原因を理解し、現場で対応できる。	実際に経験した水漏れの発生原因と改善策のレポート提出
7	6月20日	演習	水槽メンテナンス業で実際に使用している道具を理解説明することができる。	アクアルームにおいて水草水槽管理を実践することで時間外学習に充当する。
8	6月27日	講義	水草の進化と分布拡散・遺伝的構造・保全について学び、どのような過程で水草が進化したか理解することができる。　　国立科学博物館田中法生先生講義	水草水槽のススメ内、水草図鑑の内容を理解、学名や特徴などの把握をおこなう。
9	7月4日	演習	水槽メンテナンス業で実際に使用している道具を理解説明することができる。	アクアルームにおいて水草水槽管理を実践することで時間外学習に充当する。
10	7月11日	講義	水槽メンテナンス業で実際に使用している道具を使用、実践することができる。	メンテナンス道具使用時の問題点・改善点をレポート提出
11	7月18日	講義	淡水魚水槽で使用する様々な添加剤の使用方法と効果を述べることができる。	現在まで使用した添加剤の種類と効果等の感想のレポート提出
12	8月29日	講義	水槽メンテナンスに必要な薬品が使用できるようになる。	アクアルームにおいて水草水槽管理を実践することで時間外学習に充当する。
13	9月5日	実技	日本の湧水再現の大型水槽の構造を理解し説明することができる。	新社屋に設置予定の大型水槽の生体レイアウトイメージのアンケートを行う。
14	9月12日	講義・試験	テスト内容の予習・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	9月19日	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、長期間水槽メンテナス方法の理解を深める	試験範囲からの復習と教科書を再理解するための熟読。
準備学習　時間外学習			事後学習を通じて深く学び、準備学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。	

【使用教科書・教材・参考書】　熱帯魚・水草図鑑3000種・各水草図鑑

教科書「水草水槽のススメ」 参考資料「デュプラジャパン理想的な水槽」

科目名	観賞魚研究Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	土屋俊朗
		授業形態	講義	単位	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	水族館勤務を経て、現在はショップ店長や水草直輸入工房も経営している。						
授業の学習内容	“熱帯魚”として輸入される魚たちのルート、名称、や飼育販売の要点を覚えるための授業。 各々の特性を覚え、飼育販売に備えてほしい。						
到達目標	各魚種の飼育販売上の違いを理解し飼育、説明、販売ができるようになる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価:GPA(S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/15	講義	日本産淡水魚(以下、日淡)のサケ、マスの飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
2	4/22	講義	日淡のサケ、マスの説明ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
3	5/13	講義	日淡のアユ、コイ、フナの説明飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
4	5/20	講義	日淡のタナゴ、他コイ目の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
5	5/27	講義	その他の日淡の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
6	6/3	講義	世界の“熱帯魚”の特性、ルート等を説明できる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
7	6/10	講義	カラシンのうち“テトラ”類の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
8	6/17	講義	カラシンのうちセラサルム、ガステロペレクスの説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
9	6/24	講義	カラシンのうちナノストムス、エリスリヌスの説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
10	7/1	講義	カラシンのうちその他のカラシン類の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
11	7/8	講義	キクラ科のうちアフリカ大地溝帯の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
12	7/22	講義	キクラ科のうちアフリカ河川型の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
13	9/2	講義	キクラ科のうち中南米産大型種の説明、飼育ができる。	授業で紹介できなかった魚種について調べる。
14	9/9	試験	上記内容を理解できているかの筆記試験。	試験の準備。
15	9/16	講義	前期を振り返り、ウィークポイントを無くす。	試験の答えを調べる。
準備学習　時間外学習			テキストは無いため、予習はインターネットや飼育書を参考にする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	観賞魚研究Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	土屋俊朗
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義	総時間（単位）	1		
教員の略歴	水族館勤務を経て、現在はショップ店長や水草直輸入工房も経営している。						
授業の学習内容	生体と異なり、ショップによる価格だけの違いを見られやすい器材をどのように解説、販売できるか。 また、オリジナルの機材を作成したり販売することを考える。						
到達目標	様々な機材、類似したものの違いを理解し、説明できるようにする。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4/11	講義	水槽や水容器の特性について覚える。	各水槽メーカーを調べる。
2	4/18	講義	水に関する添加剤について覚える。	各メーカーの出している水質添加剤について調べる。
3	4/25	講義	砂利や床砂について覚える。	各メーカーの出している底床材について調べる。
4	5/9	講義	各種フィルターについて覚える。（投げ込み式）	各メーカーの出しているフィルターの具体的な名称を覚える。
5	5/16	講義	各種フィルターについて覚える。（底面フィルター）	各メーカーの出しているフィルターの具体的な名称を覚える。
6	5/30	講義	各種フィルターについて覚える。（上部・壁掛け）	各メーカーの出しているフィルターの具体的な名称を覚える。
7	6/13	講義	各種フィルターについて覚える。（外部式）	各メーカーの出しているフィルターの具体的な名称を覚える。
8	6/20	講義	照明の違いについて覚える。	各メーカーの出している照明の具体的な名称を覚える。
9	6/27	講義	人工海水について覚える。	各メーカーの出している人工海水の具体的な名称を覚える。
10	7/4	講義	海水用添加剤について覚える。	各メーカーの出している海水用添加剤の具体的な名称を覚える。
11	7/11	講義	水温調整器について覚える。	各メーカーの出している水温調整器の具体的な名称を覚える。
12	7/18	講義	海水のみに使用する器材について覚える。	各メーカーの出している海水用器材の具体的な名称を覚える。
13	9/5	講義	海水のみに使用する器材について覚える。	各メーカーの出している海水用器材の具体的な名称を覚える。
14	9/12	試験	上記内容についての筆記試験。	試験の準備。
15	9/19	講義	前期を振り返り、ウィークポイントを無くす。	試験の答えを調べる。
準備学習　時間外学習			テキストは無いため、予習はインターネットや飼育書を参考にする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動物園研究Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	森由民
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義	単位	1		
教員の略歴	動物園フリーライターとして、日本全国の動物園を回り紹介し続けている。多数著書あり。						
授業の学習内容	動物園スタッフを志望する者に対して、自覚的な動物園人としてのライフワークの基礎となる動物園通史と動物園原論を展開する。なお、後期には本講義を基にさらに個別の事例研究や受講者が主体的に関わる演習の要素も予定している。						
到達目標	近代動物園は、市民一般に開かれていることと科学的基盤を持つことで特徴づけられる。 そこでは最新の科学知識の伝達の試みが可能であるとともに、人々の文化的な動物観形成も行なわれていると考えられる。 このような動物園のあり方を的確に理解し、それを基に、動物園スタッフとして「動物園文化」を構成していく基礎知識を習得する。						
評価方法と基準	講義への出席と定期の考査によって評価する。考査は、あらかじめ配布するテキストに基づく穴埋め式・選択肢付。テキストは試験の現場にも持ち込み可とする。すなわち、事前のテクスト読解もまた学習の一部であることを肝に銘じられたい。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	動物園はどこから来たのか	本講義の目的はもっぱら、近い将来に携わる見込みの動物園の現場で自ら考え学び解決するための緒となる問題意識の喚起にある。教師の中に既に答えがあり、その正解を言い当てることが目指されるといった発想や、短絡的に模範解答を暗記しようとする姿勢は最も忌避されるものである。よって、特に明確な学習課題は示さないが、受講前後に以下の姿勢を保つことを推奨する。 1. 考査のために与えたテキストは暗記のためでなく理解・咀嚼のために複数回自学自習すること。また、参考文献にも積極的に取り組むことが自らの成長につながることを常に念頭に置かれよ。 2. その他、講義内で与えられるハンドアウトの類についても自ら学び、必要に応じて講師に質疑応答を求めること。 3. 毎回の授業後レポートについて、返答可能なものはすべて翌週までに返答を記して返却する。各自がその一週間に自分なりに疑問の解決のための調査・考察を行うべきである。それを前提として、講師からの返答を消化するように努められたい。
2	4月23日	講義	アリストテレスかく語りき	
3	5月7日	講義	ビュフォンからキュヴィエへ	
4	5月14日	講義	市民が歩く動物園	
5	5月21日	講義	南北戦争と動物園	
6	5月28日	講義	花鳥茶屋から動物園へ	
7	6月4日	講義	上野動物園に学ぶ	
8	6月11日	講義	郊外型動物園の展開	
9	6月18日	講義	サファリパークを歩く	
10	6月25日	講義	サル山からテナガザルの森へ	
11	7月2日	講義	動物園と遊園地	
12	7月9日	講義	科学・文化・公共性	
13	9月3日	講義	考査に向けての質疑応答	
14	9月10日	講義	上述の通りのテクストに関する考査	
15	9月17日	講義	考査結果解説	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】教科書は定めない。参考文献は以下の通り。川端裕人・本田公夫(2019)『動物園から未来を変える』亜紀書房、村田浩一ほか編(2014)『動物園学入門』朝倉書店、森由民(2014)『動物園のひみつ』PHP研究所、岩生謙二(2010)『動物園革命』岩波書店、悪村博(2017)『トレーニングという仕事』東海大学出版会。また、動物学全般に関する参考書として、三浦慎悟(2011)『動物の世界』新星出版社。

科目名	動物園飼育論	必修選択	選択	年次	2	担当教員	柴田和彦
		授業形態	講義	総時間（単位）	45 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二2年						
教員の略歴	元動物園飼育員。						
授業の学習内容	1 動物園飼育が未経験の学生を講義の中で実際的な体験を伝達することによって将来の動物飼育管理を万全な姿勢で臨むことができる即戦力人材を育成する。 2 当授業は座学中心となるので実際に動物園を見学したりする科目を踏まえて講義の幅が広がるようにする。 3 入学時の真っ直ぐな志のまま真摯な気持ちで動物飼育管理を望み。個々の思い描く仕事を全うできる人に近づける思想、理論、技術を身に着けてもらう。 ◎座学中心となるが動物園における飼育動物全般にわたりロ頭であったり、時に図などを板書したり、より実際的に動物園、野生、プロの飼育管理する動物などの画像をパワーポイントなどで見てもらったりしながら、理解を深めて興味をもって授業に臨んでもらう。						
到達目標	1 管理下動物の日々の事象から的確な判断ができる即戦力を育てる 2 各事例から本質、根源を探り本質的な思考をする 3 個々タクソンに囚われず飼育の基礎知識、技術を学ぶ、考える 4 飼育の経験例に触れ個々のノウハウを学ぶ 5 飼育という仕事を通して自己の成長を図る						
評価方法と基準	1）定期テスト60% 2）出席数40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	本年の授業目標を理解する	
2	4月24日	講義	動物の創造について(pp使用）説明できる	
3	5月8日	講義	ウサギについて説明できる	
4	5月15日	講義	環境の設定について述べられる	
5	5月22日	講義	スリエについて説明できる	
6	5月29日	講義	晩成性鳥類の人工育雛を説明できる	
7	6月5日	講義	季節など自然現象について説明できる	
8	6月12日	講義	哺乳類について説明できる	
9	6月19日	講義	飼育の「方程式」について理解し説明できる	
10	6月26日	講義	鶉鶏の孵卵、育雛を説明できる	
11	7月3日	講義	繁殖について説明できる	
12	7月10日	講義	サル山飼育について説明できる	
13	9月4日	講義	動物ガイドについて理解し実践できる	
14	9月11日	試験	飼育管理者としての考え方を確認し自覚を持てる	
15	9月18日	講義	不安な要素を無くし実践できる	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	畜産飼養　I	必修選択	選択	年次	1	担当教員	工藤悟
		授業形態	講義・演習	（単位）	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴	観光牧場勤務を経て、現在は牧羊犬トレーニングや羊管理のコンサルティングを行っている。						
授業の学習内容	畜産学、家畜、飼料そして畜産物の入門的理解に重点を置き、動物を扱う現場には、様々な分野の知識が必要であり、各々が独立しているものではなく、密接に関わり合い業務が遂行される事を理解させ、興味を持たせる。また、即戦力として必要な知識を解説する。						
到達目標	畜産学の基礎を正しく理解させる。 家畜が日常生活の衣・食・住を支えている事を理解させる。 即戦力として役立つ知識を理解させる。						
評価方法と基準	ロープワーク実技試験　10% 定期試験　90% 試験評価:S-Fの基準（S　100～90、 A　89～80、 B　79～70、 C　69～60、 F　59～0）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1		講義	講義内容の説明、畜産と生活との関わり、畜産の必要性、現状について理解する。	講義中に使用した教科書、配布したプリント。そして、口頭、板書を書き留めたノートの熟読を行い、時間外学習とする。また、理解できなかった内容についての質問を整理する。
2		講義	日本における代表的な家畜（牛・豚・鶏）の品種を紹介すると共に利用目的について理解する。	
3		講義	代表的な家畜（牛・豚・鶏）の骨格の構造と特徴。そして、独特な特徴について理解する。	
4		講義	代表的な家畜（牛・豚・鶏）の消化器の構造と特徴。　反芻動物の消化機能。また、独特な特徴について理解する。	
5		講義	代表的な家畜の生殖器の構造、性周期、妊娠、分娩について理解する。	
6		講義	育種の概念。選抜法、交配法を紹介し、育種改良の重要性について理解する。	
7		講義	飼料の消化・吸収について解説し、各種畜産物に変える一連の過程を理解する。	
8		講義	飼料の概念。 飼料の一般成分、栄養価について理解する。。	
9		講義	飼料の分類、 特に種類の解説とその特徴について理解する。。	
10		講義	飼料の給与方法、特に代表的な家畜（牛・豚・鶏）に対しての方法を理解する。	
11		講義・演習	牧場で使用するロープワークについて理解し実践できるようになる。　（構造、扱い方、手入れ・結び方を理解する。）	紹介した結び方の復習を行い習得すること。
12				
13		講義・試験	ロープワークの理解度の確認。実技試験を通し、再度、結び方を整理し理解させる事。	
14		試験	筆記試験	
15		講義	試験の解説を通して、前期のポイントを整理し理解させる事。	前期講義の復習
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】　家畜飼育の基礎　並河澄　他5名共著（農文協）/配布する講義用プリント。				

科目名	畜産飼養 Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	工藤悟
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼Ⅱ2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	観光牧場勤務を経て、現在は牧羊犬トレーニングや羊管理のコンサルティングを行っている。						
授業の学習内容	『畜産飼養Ⅰ』で学んだ分野から就職後、家畜を扱う現場において必要な知識をより詳しく解説すると共に、特に演習を通して経験を積み、即戦力としてのスキルアップを習得する。 （※家畜を扱う現場とは、特に生産牧場、観光牧場、移動動物園、動物園のふれあいエリアを指す。）						
到達目標	畜産学の基礎を正しく理解する。 『畜産飼養Ⅰ』で学んだことが職場のどこで役立つかを理解する。 即戦力として役立つ知識を理解すると共に、演習を通して経験する。						
評価方法と基準	演習実技試験 20% レポート 50% 定期試験 30% 試験評価:S-Fの基準（S 100～90、 A 89～80、 B 79～70、 C 69～60、 F 59～0）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1		講義・演習	・講義内容の説明。 ・『畜産飼養Ⅰ』のロープワークの復習と新たな結び方について理解し実践できるようになる。 （新しい結び方を理解する。）	・講義・演習中に使用した教科書、配布したプリント。そして、口頭、板書を書き留めたノートの熟読を行い、時間外学習とする。また、理解できなかった内容についての質問を整理する。 ・演習時のレポート作成を通して習得した内容を再確認し理解を深めると共に、疑問を整理し解決すること。
2				
3		講義・演習	羊毛加工 ・羊毛の基礎知識について理解する。 ・羊毛を利用した催事について理解する。 ・実際に羊毛で糸を作れるようになる。 ・実際に羊毛で小物を制作する。	
4				
5				
6		講義・演習	作業犬 ・働く犬の種類を理解する。 ・牧場の作業犬について理解する。 ・観光牧場の作業犬について理解する。	
7				
8		講義・演習	牛乳加工（バター作りの実施） ・牛乳がバターに変化する工程を理解する。 ・バター作りに影響を与える要因について実験を通して理解する。	
9				
10				
11		講義	家畜の病気とその対策について理解する。	
12		講義	畜肉の部位と副産物について理解する。	
13		講義	畜産飼養Ⅰの総復習を通してポイントを整理し、後期の授業に利用できるよう整理する。	
14		試験	筆記試験	
15		講義	試験の解説を通して、前期のポイントを整理し理解させる事。	前期講義の復習
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】　家畜飼育の基礎　並河澄　他5名共著（農文協）/配布する講義用プリント。				

科目名	キーパー研究Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	土屋俊朗
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二2年	授業形態	講義	単位	1		
教員の略歴	水族館勤務を経て、現在はショップ店長や水草直輸入工房も経営している。						
授業の学習内容	・ショップ店員として仕事をどうとらえ、どんな行動をするか？ 将来的に自らのショップ経営も考えた場合に備えた授業。 ・店員で満足せず、ショップ経営、輸入まで見据えてほしい。						
到達目標	ショップで扱う生体、機材の流通経路や、その特性を学び、各々が接客時に説明できるようにする。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価:GPA(S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/11	講義	どんな形態のショップがあるか覚える。	自宅付近のショップの形態を調べる。
2	4/18	講義	上記ショップにはどのような生体を扱っているか覚え理解する。	なぜそのような生体を在庫しているか考える。
3	4/25	講義	なぜ、上記のような差が表れるのか覚え理解する。	自宅近辺の住民性、立地条件等を調べる。
4	5/9	講義	各生物の流通経路を覚える。	具体的な問屋等を調べる。
5	5/16	講義	東南アジアの生物の流通経路を覚える。	東南アジアの輸出国を調べる。
6	5/30	講義	南米の生物の流通経路を覚える。	南米の輸出国を調べる。
7	6/13	講義	アフリカの生物の流通経路を覚える。	アフリカの輸出国を調べる。
8	6/20	講義	その他産地の生物の流通経路を覚える。	その他産地の輸出国を調べる。
9	6/27	講義	原価について覚える。 ショップ開業に必要な知識を理解する。	様々な商品の原価を調べる。
10	7/4	講義	ショップの地域性を覚える。	自宅近辺の地域性を考える。
11	7/11	講義	自宅付近でショップ開業く際のシュミレーションをし必要な知識を身に付ける。	シュミレートしたものをレポートにまとめる。
12	7/18	講義	自宅付近でショップ開業く際のシュミレーションをし必要な知識を身に付ける。	シュミレートしたものをレポートにまとめる。
13	9/5	講義	レポートから問題点を見つけ出し対処ができるようになる。	見つけた問題点を改善したレポートを作成する。
14	9/12	試験	上記内容についての筆記試験。	試験の準備。
15	9/19	講義	前期を振り返り、ウィークポイントを無くす。	試験の答えを調べる。
準備学習　時間外学習			テキストは無いため、予習はインターネットや飼育書を参考にする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	インタープリテーションⅡ　1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	菅原　茂
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	45 1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴							
授業の学習内容	インタープリテーション（自然や野生動物のメッセージを伝える）能力を身に付けることを第一の目的とする。 授業内容は環境教育促進法（略称）に基づき環境省（文部科学省、国土交通省の3省）に登録している「インタープリター入門講座」をベースにしている。水族館関係者、野生動物のフィールド関係者、研究者などPACIの非常勤講師の特別講義をふんだんに、業界の最新情報の収集やキャリアデザイン能力を磨く等幅広い内容で、インタープリターの基礎知識を学ぶ構成となっている。						
到達目標	日帰りで10人程度の少人数を海辺に案内できるインタープリターになることを目標とする。 <具体的な目標> ①PACI1Star　インタープリターのガイドライン8項目について80%以上の達成を目指すこと。 ②PACI　教則本「インタープリター養成講座　Work book」（1Star,2Star兼用の1Star部分）について、80%以上理解をしていること。 ③CNAC海に学ぶ体験活動協議会編「海あそびレシピ」環境教育プログラム33件の内、10件以上のインタープリテーションができること。						
評価方法と基準	①出席率（60%） ②中間テスト（6／27，20%） ③期末テスト（9／12，20%）以上の割合で評価する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月11日	講義	「燃える決意」レポート20分で書き上げることができる（PACI写真集配布＆解説）	「インタープリター養成講座Workbook」へ書き込み復習・予習課題（A）
2	4月18日	講義	特別講義「三屋智子先生」。カナダのシャチの生態について、ポイントを文章で表現できる。	特別講義レポート（B）、予習課題（A）
3	4月25日	講義	シラバス解説、PACIのガイドライン＆目標とは、文章でポイントを表現できる。	予習・復習課題（A）
4	5月9日	講義	「人気アニメから学ぶ①～海洋生物の生態、体験活動の感動とは～」。ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
5	5月16日	講義	「人気アニメから学ぶ②～海洋生物の生態、体験活動の感動とは～」。ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
6	5月30日	演習	【1Bのみ実施】「人気アニメから学ぶ③～レポート作成、ワークショップ、1分間スピーチができる～」	予習・復習課題（A）
7	6月13日	演習	インタープリテーションをやってみよう！写真を見ながら、プレゼンテーションができる。	予習・復習課題（A）
8	6月20日	講義	【1Aのみ実施】「人気アニメから学ぶ③～レポート作成、ワークショップ、1分間スピーチができる～」	予習・復習課題（A）
9	6月27日	講義	自然学校紹介、ポイントを文章で表現できる。中間テスト	予習・復習課題（A）
10	7月4日	講義＆演習	CNAC安全海遊び講座、ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
11	7月11日	講義	特別講義「前田尚先生」。元水族館館長のプレゼンテーションを聞き、ポイントを文章で表現できる。	特別講義レポート（B）、予習課題（A）
12	7月18日	講義	前期総括、夏休み計画、PDCAを身に着けよう！PDCAが実践できる。	予習・復習課題（A）
13	9月5日	講義	夏休み総括,PDCAが実践できる。	予習・復習課題（A）
14	9月12日	期末テスト		
15	9月19日	振り返り		
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】①教科書：「インタープリター養成講座　Work book」菅原茂監修、PACI10周年記念写真集「Whale & Dolphins」，親子　安全海遊び講座、海あそびレシピ・海辺の環境教育プログラム事例集、②教材:レスキュウキャップ、③参考書：「全国水族館&フィールドガイドブック」菅原茂監修、「世界に広がるホエールウォッチング」、「インタープリター・トレーニング」、など

科目名	インタープリテーションⅡ　2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	菅原　茂（他PACIの特別講師）
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴							
授業の学習内容	インタープリテーション（自然や野生動物のメッセージを伝える）能力を身に付けることを第一の目的とする。 授業内容は環境教育促進法（略称）に基づき､環境省（文部科学省、国土交通省の3省）に登録している「インタープリター入門講座」をベースにしている。水族館関係者、野生動物のフィールド関係者、研究者などPACIの非常勤講師の特別講義をふんだんに、業界の最新情報の収集やキャリアデザイン能力を磨く等幅広い内容で、インタープリターの基礎知識を学ぶ構成となっている。						
到達目標	身近な海辺（や水族館など）で、少人数を案内する自然体験活動の指導ができるインタープリターになることを目標とする。＜具体的な目標＞①CNAC海に学ぶ体験活動協議会「海遊び安全講座指導者養成セミナー」を受講し、人に教えられる。②自然学校の体験活動（キャンプなど）でリーダーができる。（もしくは水族館のふれあいイベントなどでスタッフができる）。③海辺の体験活動の基礎的なスキルを身に着けている。CNAC「海あそびレシピ」海辺の環境教育プログラム事例集の33件のうち、20件以上のプログラムについて、数人の子供たちに教え、ともに楽しむことができる。以上3点のうち2点はできること。						
評価方法と基準	①出席率（60%） ②期末テスト（9／11，40%） ③以上の割合で評価する。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	「燃える決意」レポート作成＆1分間スピーチが原稿を見ずに発表できる。	「インタープリター養成講座Workbook」へ書き込み復習・予習課題（A）
2	4月24日	講義	シラバス解説、目標の徹底、ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
3	5月8日	講義＆演習	インタープリテーションをやってみよう①！写真を見て解説できる。	予習・復習課題（A）
4	5月15日	講義＆演習	元滋慶グループ名誉校長監督作品を鑑賞しよう①！環境教育のポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
5	5月22日	講義＆演習	元滋慶グループ名誉校長監督作品を鑑賞しよう②！環境教育のポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
6	5月29日	講義＆演習	インタープリテーションをやってみよう②！写真を見て解説できる。	予習・復習課題（A）
7	6月5日	講義	特別講義「前田尚先生」。学名について、ポイントを文章で表現できる。	特別講義レポート（B）、予習課題（A）、
8	6月12日	講義	人気アニメ、または動物映画鑑賞し、インタープリターの視点を学ぶ①。ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
9	6月19日	講義	特別講義「三屋智子先生」。カナダのシャチの生態について、ポイントを文章で表現できる。	特別講義レポート（B）、予習課題（A）、
10	6月26日	講義＆演習	人気アニメ、または動物映画鑑賞し、インタープリターの視点を学ぶ②。ポイントを文章で表現できる。	予習・復習課題（A）
11	7月3日	講義	SDGsについて理解し、自己の生活において実践できる。	予習・復習課題（A）
12	7月10日	講義	前期総括と夏休み計画。PDCAを実践できる。	予習・復習課題（A）
13	9月4日	講義	特別講義「卒業生」。講義を聞いて、質問を考え、質疑応答ができる。	予習・復習課題（A）
14	9月11日		テスト	
15	9月18日		振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】①教科書：「インタープリター養成講座　Work book」菅原茂監修、PACI10周年記念写真集「Whale & Dolphins」，親子　安全海遊び講座、海あそびレシピ・海辺の環境教育プログラム事例集、②教材:レスキュウキャップ、③参考書：「全国水族館&フィールドガイドブック」菅原茂監修、「世界に広がるホエールウォッチング」、「インタープリター・トレーニング」、など

科目名	水生生物飼育管理Ⅱ-1	必修選択	選択	年次	1	担当教員
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義・演習実習等	総時間（単位）	45 1	橋口　大佑
教員の略歴	水族館で 魚類課を担当後、ポンプメンテナンス会社勤務。現在は専門学校で教務として勤務。					
授業の学習内容	講義・演習・実験を通して魚類飼育の基礎を学び、水族館で展示・飼育・解説をするマインドと魅力を学ぶ。					
到達目標	・魚類飼育の基礎を学び、水槽環境の維持ができるようになる。 ・水槽関連機器を正しく使用できるようになる。 ・5Sの重要性を理解し、安全・安心な水族館の運営方法を身につける。 ・水族館飼育員になっていくマインドを身につける。					
評価方法と基準	定期試験ト100% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　前回とは異なる内容の筆記試験を行い、60点以上であればC評価とする。 出席率66.7%以上で上記評価の対象者とする。					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義・演習	授業内容の説明、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	新入生オリエンテーションにおける目的、目標、方法の理解
2	講義・演習	飼育におけるマニュアル、展示の目的、飼育員になる心得を理解することができる。	新入生オリエンテーションにおける3つの習慣の理解
3	講義・演習	5Sについて学び、アクアルームの設備の維持管理の重要性を理解する。	アクアルームの水槽や関連設備の名称を調べてくる。
4	講義・演習	水槽ろ過システムを学び、周辺設備を理解する。	
5	講義・演習	伊豆水族館実習を通して、現場で働く飼育員の姿勢を学び、業務内容を理解する。	訪問先の企業の展示コンセプトを調べ、理解しておく。
6	講義・演習	魚病を学び対処法や病気の原因の調べ方を身につける。 （特別講師：日本獣医大　小峰先生）	顕微鏡の使い方を予習しておく。
7	講義・演習	pH、NH_3、NO_2、NO_3の測定方法を学び、ろ過システムとの関連を理解することができる。	アクアルームの飼育業務を行い、時間外学習の時間に充当する。
8	講義・演習	換水作業の方法を学び、サイフォンの仕組み、水質測定との関連を理解する。	
9	講義・演習	生体によって飼育管理に違いがあることを学び、生態を探求する重要性とおもしろさを理解する。	アクアルームの飼育生物の名称を調べてくる。
10	講義・演習	投薬する際の注意点を理解する。 水量計算を身につける。	アクアルームの飼育業務を行い、時間外学習の時間に充当する。
11	講義・演習	水道水から人工海水を作りだす方法を学び、性質を理解する。水量計算を復習し、身につける。	
12	講義・演習	サンゴの飼育方法を学び、窒素還元に繋がる水槽内環境を理解する。	サンゴの海における役割を調べ、考える。
13	講義・演習	知識、技術を学んできたが、改めてそれを使う自らの人間性やマインドの大切さを理解する。	新入生オリエンテーションで記入した自らの目的、目標を改めて読み返す。
14	講義・試験	これまでの授業の振り返りを行い理解度を深める。 試験（60分　筆記試験）	試験範囲の予習と対策
15	講義	試験の振り返りを行い、理解できていなかった部分を把握し、改めて身につける。	アクアルームの飼育業務を行い、時間外学習の時間に充当する。
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。	

【使用教科書・教材・参考書】　・Hand-book of Life Styleを持参すること。

※指示をしたときのみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水生生物飼養管理　Ⅱ-2	必修選択	必修	年次	1	担当教員	江口仁詞
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	45 1		
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年						
教員の略歴							
授業の学習内容	観賞魚の基本的な飼養管理は、飼育展示・販売、又は接客に必要不可欠な授業です。 また、淡水魚研究、海水魚研究の授業で魚種別の生息環境を学び、人工飼育を可能にする為の知識・技術です。 より多くの水生生物を長く健康に飼育し、適正に安全に流通させることができるプロとなれるよう、学習してください。 授業は座学が中心ですが、実験を通じて水質の違いや、機材の正しい使用方法を学習します。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	淡水の水質を調整し、地域によって異なる環境を作ることができる。 4大観賞魚産地の、代表的な水質を理解する。 その水質を、水道水を元に作ることができるようになる。 海水魚の基本となる人工海水を正しく作ることができる。 窒素還元の循環システムを組み立てることができる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	半期の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	入学前オリエンテーションにおける3つの週間の理解と個人目標の策定
2	講義	飼育マニュアルの説明から、飼育方法だけではなく、展示の目的、目標、方法を理解することができる。	準備学習：入学前オリエンテーションにおける個人目標の策定から、校内での飼育の目的、目標の共通点を確認する。
3	講義・演習	魚の正しい扱い方を学び、水槽内での捕獲～酸素を使い安全に輸送できる技術を身に付ける。	熱帯魚3200種図鑑を使用しアクアルームの魚種の比較と同定を行う。50～100種
4	講義・演習	観賞魚の生息地域の特性から、魚種の特徴を理解する。南米アマゾン流域・東南アジアオセアニア・アフリカ	
5	講義・演習	観賞魚の飼育水を作れるようになる為に、実験を行い水道水と飼育水の違いを理解する。	飼育マニュアルの熟読と実践をアクアルームの飼育当番・補助の作業内で行い、時間外学習に充当する。
6	講義・演習	観賞魚の飼育水を管理する為に、実験を通じより効率よく換水を行えるようになる（サイフォン）	
7	講義・演習	観賞魚の飼育管理を行う為に、実験を通じてPHによる水質の違いを理解する。	
8	講義	海水魚の飼育管理を行う為に、塩分濃度を理化して人工海水から飼育水を作ることができる。	
9	講義	観賞魚の飼育管理を行う為に、硝化作用とPHの関係を理解し、実践できるようになる。	
10	講義	観賞魚の飼育管理を行う為に、水質を変化させる要因を理解し、PHをコントロールできるようになる。	観賞魚飼育・管理士ハンドブック8p～15pの　熟読と理解
11	講義	安定した水質維持の為に、水槽内の窒素の循環サイクルを理解できるようになる。硝化と窒素還元	
12	講義・演習	魚類の行動の観察方法　野生の魚を捕獲する漁法を知り、ミャク釣りの仕掛けを作る。	指定したロープワークの実践と、夏季休暇中の採取実践を行う。
13	講義	NH3／NO2／NO3の測定方法、比重の計り方を理化し、水質測定が行えるようになる。	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、水質と飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習と飼育マニュアルの熟読
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】　熱帯魚3200種図鑑／鑑賞魚飼育・管理士ハンドブック／鑑賞魚飼育・管理士ハンドブックⅡ

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	飼養管理	必修選択	必修	年次	1	担当教員	江口仁詞
		授業形態	講義 演習	総時間（単位）	45 1		
学科・コース	アクア・両生爬虫類専攻						
教員の略歴	日本動物植物専門学校獣医看護科卒、OMファーム岩村、犬猫ハウスパピー、A＆Fカントリー勤務、NCA教務部、TCA教務部						
授業の学習内容	観賞魚の基本的な飼養管理は、飼育展示・販売、又は接客に必要不可欠な授業です。 また、淡水魚研究、海水魚研究の授業で魚種別の生息環境を学び、人工飼育を可能にする為の知識・技術です。 より多くの水生生物を長く健康に飼育し、適正に安全に流通させることができるプロとなれるよう、学習してください。 授業は座学が中心ですが、実験を通じて水質の違いや、機材の正しい使用方法を学習します。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	窒素還元の循環システムを組み立てることができる。 代表的な魚病の特徴と発生理由を理解することができる。 代表的な魚病に使う薬品を知り、正しくしようできるようになる。 基本的な機材の管理を身につけ、2019年10月～2020年9月までの飼育管理の中で起るトラブルに対応が出来るようになる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	安定した水質維持の為に、自然界における窒素の循環サイクルを理解できるようになる。硝化と窒素還元	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
2	講義・演習	水槽内でのトラブルの対応 （魚病） 濃度の単位%、‰、ppmを学び、基本的な薬品の希釈と投薬ができるようになる	観賞魚飼育・管理士ハンドブック31p～56pの熟読と理解。
3	講義	水槽内でのトラブルの対応 （魚病） 白点病／ウーディニウム病の予防と治療を説明できる	
4	講義	水槽内でのトラブルの対応 （魚病） ミズカビ・細菌感染の予防と治療を説明できる。	
5	講義	両生類の飼育管理　魚類の飼育管理技術を活かし代表的な有尾目・無尾目の飼育に応用ができる。	爬虫類室の飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
6	講義	両生類の飼育管理　魚類の飼育管理技術を活かし代表的なカメ目、有鱗目の飼育に応用ができる。	
7	講義	観賞魚・両生爬虫類の生き餌の飼育管理を正しく行い、安全に保管できる方法を実践できる。	観賞魚飼育・管理士ハンドブック43p～49pの熟読と理解。
8	講義	野菜・冷凍餌・配合飼料の管理と基本的な保管方法と調餌方法、衛生管理が行えるようになる。	
9	講義・演習	オーストラリア・オセアニア地域の魚類・両生爬虫類を学び、飼育管理に生かすことができる。	オーストラリアへの海外研修を持って充当する。
10	講義	ガラス水槽とアクリル水槽の特徴と違いを学び、展示する生体によるトラブルを防ぐ。	理解と提出レポートの作成
11	講義	ガラスとアクリルの基本的な管理・加工を学び、展示する生体によるトラブルを防ぐ。	
12	講義	塩ビパイプによる配管の方法と加工を学び、飼育管理に活用することができる。	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
13	講義	エアーポンプとブロアーのメンテナンスを学び、飼育管理に活用することができる。	
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、水質と飼育管理の理解を深める	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

鑑賞魚飼育・管理士ハンドブック／鑑賞魚飼育・管理士ハンドブックⅡ　※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可す

科目名	海洋哺乳類Ｉ1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小澤紀恵
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二1年	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	水族館勤務						
授業の学習内容	◦海洋生物に関わる業界に必要とされる、『素質ある人材』の育成を目的とし授業を行います。 ◦海洋哺乳類の基礎的な知識や、飼育する上での健康管理やトレーニング、動物福祉を考えた飼育方法などを、映像や資料を使い講義します。 ◦学習内容を復習すると共に、人に伝える力と仲間との協調性を養うことができるよう、グループでの発表を行います。 ◦コミュニケーション力や、積極性、観察力を養うため、様々なレクリエーションを行います。						
到達目標	◦海洋哺乳類の基礎的な知識や飼育管理の方法を身につけ、飼育下の動物にとって、より良い環境を考える事が出来るようになる。 ◦レクリエーションを通じて、積極的にコミュニケーションを取る事や、人前に出て伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	(1)定期試験(グループ発表) 80%・・・学習の理解、プレゼンテーション力、協調性などを評価します。 (2)小テスト 10% (3)授業態度 10%・・・メモを取る事、質問などの発言、出席数などを評価します。 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 筆記(小テストの中から出題)　80点以上でCの評価とする。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義・演習	自己紹介と、授業の目的を理解し各自の目標設定ができる。	インタビューシートを記入し、各自の目標をたてる。
2	4月18日	講義	鯨類の分類・特徴・展示方法について知る事ができる。	水族館にはどんな種類の海洋哺乳類が飼育されているのかを知る。
3	4月25日	講義	鰭脚類の分類・特徴・展示方法について知る事ができる。	
4	5月9日	講義	海牛類、ホッキョクグマの分類・特徴・展示方法について知る事ができる。	小テストに向けて、復習をする。
5	5月16日	実習	伊豆水族館見学実習	伊豆実習のレポート作成を時間外学習に充当する。
6	5月30日	講義	ラッコ、カワウソの分類・特徴・展示方法について知る事ができる。	アクアルームの飼育当番・補助の作業を時間外学習に充当する。
7	6月13日	1A 実習 1B 講義	1A 大島ダイビング実習 1B ペンギンの分類・特徴・展示方法について知る事ができる。	
8	6月20日	講義	1A ペンギンの分類・特徴・展示方法について知る事ができる。 1B 餌の種類・量・栄養について知る事ができる。	
9	6月27日	1A 講義 1B 実習	1A 餌の種類・量・栄養について知る事ができる。 1B 大島ダイビング実習	
10	7月4日	講義	調餌～給餌方法を知る事ができる。	小テストに向けて、復習をする。
11	7月11日	講義・演習	グループ内で話し合いテーマを決め、学習の確認ができる。	グループ内で作業予定や分担などを確認する。
12	7月18日	講義・演習	グループ内で協力し、復習ができ、プレゼンの方法を知る事ができる。	発表に向けて準備。 夏季休暇中の目標をたてる。
13	9月5日	講義・演習	作業の確認と、プレ発表ができる。	発表に向けて準備。
14	9月12日	試験	人前で発表し、他のグループの評価をすることができる。	他グループの発表の評価表を作成する。
15	9月19日	講義	発表の振り返りができ、今後の目標設定ができる。	今後の目標を設定する。
準備学習　時間外学習			復習をする事で、理解を深め、すぐ実践できる力をつける。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	海洋哺乳類Ｉ1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	友松こずえ
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科昼二2年	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴							
授業の学習内容	イルカ類の飼育、トレーニングにかかわる場合、野生での生態、海の環境を知ることは必須である。これまでに学習した、動物としての体の仕組みや飼育の技術、またこれから学習する環境保全、インタプリター養成講座などと合わせ、アウトドアや飼育の現場で、海洋哺乳類の生態について解説できるようになることを目指す。講師の所有する現場の映像資料を中心に講義を行い、可能な限り博物館などの見学も行う						
到達目標	海の環境について、海洋哺乳類との関係について、説明できるようになる。海洋哺乳類、海洋に生きるそのほかの生物について、生態を子供にも理解できる言葉で、説明できるようになる。海洋環境の保全、海洋哺乳類の保護について、自分の考え、意見を言えるように、また書けるようになる。						
評価方法と基準	定期試験60%　　出席率 筆記試験評価：GPA(S100-90　A89-80　B79-70　C69-60　F59-0)　再試験は公欠が認められた者のみ対応する 追試験1回　レポート課題を提示し、提出を持ってCの評価とする						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	全員が何に興味があるか、どのような仕事につきたいかを話す。この科目で何を学ぶかの確認	自己紹介の準 この科目で何を学ぶかの確認し準備する
2	4月23日	講義	海の環境、潮汐、大循環などを理解し説明できる。　海洋生物の多様性を説明できる	準備学習：これまで海洋について何を学んだかを確認　時間外学習：配布資料の復習
3	5月7日	講義	野生環境で観察できる海洋哺乳類の例を挙げられるようになる	準備学習：野生動物の観察体験の例を挙げ 時間外学習:配布資料の復習
4	5月14日	講義	カイギュウ類の生態を説明できる。見られる場所を教えられるようになる	準備学習:カイギュウ類についてのニュースをチェックする　時間外学習：配布資料の復習
5	5月21日	講義	クジラ類はどのような生物化を説明できるようになる。進化について、話せるようになる	準備学習：クジラについて知っていることを確認する　時間外学習：配布資料の復習
6	5月28日	講義	ザトウクジラはどのようなクジラか説明できる。どこで、何がみられるか教えられるようになる。	準備学習:ザトウクジラについてニュースをチェックする　時間外学習：配布資料の復習
7	6月4日	講義・演習	国立科学博物館見学　生物多様性、進化について説明できるようになる	準備学習::見学ルートと見学するべきものの確認 時間外学習：学んだことを記録する
8	6月11日	講義・演習	国立科学博物館見学　生物多様性、進化について説明できるようになる	準備学習::見学ルートと見学するべきものの確認 時間外学習：学んだことを記録する
9	6月18日	講義	シロナガスクジラ、コククジラについて、採餌、回遊、どこで見られるかなど生態を説明できる。	準備学習::ヒゲクジラ類の採餌方法について調べる　時間外学習:配布資料の復習
10	6月25日	講義	ニタリクジラ、ミンククジラについて、どこで見られるか、繁殖など生態を説明できる	準備学習：土佐湾のニタリクジラについて調べる 時間外学習：配布資料の復習
11	7月2日	講義	セミクジラ、マッコウクジラについて、採餌、どこで見られるかなどを説明できる	準備学習：マッコウクジラの潜水について調べる 時間外学習：配布資料の復習
12	7月9日	講義	海鳥と海洋ゴミについて、環境保全の観点から意見を言えるようになる	準備学習：海洋ゴミについてのニュースをチェックする　時間外学習：配布資料の復習
13	9月3日	講義	前期で学んだ事について自分の考えを言えるようになる。捕鯨について意見を言えるようになる。	準備学習：前期で習ったことの理解を確認する 時間外学習：配布資料の復習
14	9月10日	講義・試験	試験対策・筆記試験（60分）	準備学習：試験範囲の対 時間外学習：試験内容の復習
15	9月17日	講義	テストの振り返りを行うことで、カイギュウ類、クジラ類、海の環境について理解を深める	準備学習：試験範囲の復習 時間外：配布資料の復習
準備学習　時間外学習			準備学習で学びたいことに気づき、事後学習を通じて理解を深め自分の意見を持てるようになる。	

【使用教科書・教材・参考書】

講師が撮影、採録、所有する映像・音源資料を使用する。講師の所有する書籍、資料からコピーを使用する

科目名	ドッグカフェ制作Ⅰ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	荒井
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	レストラン経営						
授業の学習内容	ショップ経営に向けて調理の知識・技術の向上を目指す。 一般料理、犬のための料理を実習を通し体験させる。 食に関する知識を調理実習を通して身につけさせる。						
到達目標	調理技術、衛生学、食品学、栄養学、什器備品の知識を調理実習を通して身につけさせる。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義と演習	調理の基本、調理法 ・ミネストローネを作ることができる	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
2	4月23日	講義と演習	調理設備の取り扱い ・コンポタージュ・じゃが芋と合挽肉のグラタン を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
3	5月7日	講義と演習	ショップ経営の基礎知識 ・かぼちゃのスープ・鶏肉、野菜のあんかけ を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
4	5月14日	講義と演習	人の五大栄養素、犬の三大栄養素 ・パン入りスープ・アスパラ牛肉まき を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
5	5月21日	講義と演習	食品別カロリー計算 ・もずくの中華スープ・白身魚の納豆和え を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
6	5月28日	講義と演習	人用と犬用の調味の違い ・温野菜サラダ・鰯のハンバーグ を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
7	6月4日	講義と演習	食品衛生、食中毒について ・マカロニ（ミートソース）・カジキマグロと温野菜のリゾット を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
8	6月11日	講義と演習	公衆衛生、保存の適温 ・りんごのソテー・ヨーグルトソース・砂肝の木の子添え を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
9	6月18日	講義と演習	食品の色と香り、色素・褐色現象 ・鳥団子と白菜のスープ・レバー野菜炒め を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
10	6月25日	講義と演習	施設設備の衛生、防火の法的規定 ・和風スウィートポテト・鰆トマトソース を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
11	7月2日	講義と演習	ドッグカフェ経営（生徒にイメージを持たせる） ・さつま芋のミルクケーキ・パティーロール を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
12	7月9日	講義と演習	盛り付け、空間の使い方、平面から立体に立ち上げる方法 ・人と犬のセットメニュー・ハンバーグセット・パスタ・グラタン を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
13	9月3日	講義と演習	テスト対策 ・ビーフジャーキー・野菜チップス を作ることができる。	①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
14	9月10日	試験		①材料仕入れ②調理道具を揃える、包丁を研ぐ （料理本を読み、カロリー計算をする）
15	9月17日	振り返り		
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ホリスティックケアⅠ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	横山
学科・コース	エココミュニケーション科昼一（3年制）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ジアスセラピストスクール校長　勤務歴21年						
授業の学習内容	有史以来、世界中で伝承されてきた自然療法を私たちや私たちと一緒に暮らす動物たちに行う方法や効果を教えます。特に現在、注目されているアロマセラピー、メディカルハーブ療法、マッサージに中心に動物をケアする知識を伝えていきます。						
到達目標	自然の力を理解し、西洋医学の礎となった植物療法を学び自然治癒力を高め健康に過ごす知識と実践力を習得し動物に行う方法を理解し自分たちでもケアできるようになる。						
評価方法と基準	定期試験60%（筆記試験） レポート20% 出席20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義	ホリスティックの概念と種類を学ぶことができる①	講義内容のプリントの読み返し2h
2	4月22日	講義	ホリスティックの概念と種類を学ぶことができる②	講義内容のプリントの読み返し2h
3	5月13日	講義	メディカルハーブの基本知識を学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
4	5月20日	講義	メディカルハーブの方法を学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
5	5月27日	講義	各種ハーブの効果効能を学ぶことができる①	講義内容のプリントの読み返し2h
6	6月3日	講義	各種ハーブの効果効能を学ぶことができる②	講義内容のプリントの読み返し2h
7	6月10日	講義	アロマセラピーの基本知識を学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
8	6月17日	講義	アロマセラピーの活用法を学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
9	6月24日	講義	アロマセラピーやハーブの関連法規学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
10	7月1日	講義	各種精油の効果効能を学ぶことができる①	講義内容のプリントの読み返し2h
11	7月8日	講義	各種精油の効果効能を学ぶことができる②	講義内容のプリントの読み返し2h
12	7月22日	講義	ドッグマッサージ理論を学ぶことができる	講義内容のプリントの読み返し2h
13	9月2日	演習	犬を使ってマッサージの方法をできるようになる	犬へのマッサージの仕方を説明できる2h
14	9月9日	演習	筆記試験	講義内容のプリントの読み返し2h
15	9月16日	演習	振り返り（ケーススタディーを理解することができる）	前期で学んだことをもう一度復習する2h
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント

科目名	ビジネスマナーⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松井かおり
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ビジネスマナー講師						
授業の学習内容	社会人としてのコミュニケーションやマナーを習得しながら、「キャリアと仕事への意識」を考え、「経営側の視点」を持つことを目的とした授業です。以下の4つを1年間かけて学びます ①なぜビジネスコミュニケーションやマナーが必要なのかを考える ②コミュニケーションやマナーを、実際の仕事と結びつけて習得する ③自分のキャリア（仕事人生）について考え、キャリアを創造、設計していく ④お店の経営で大切な考え方やたくさんのお客様に来ていただけるお店づくりの基本を学ぶ						
到達目標	①仕事人生（キャリア）のイメージを持ち、目標、ゴールを明確にできる ②自身のキャリアにコミュニケーションやマナーを「現実に活かして仕事をしていく」ことが想像できるようになる ③仕事のしくみや仕事の流れ、仕事のあり方を多角的にとらえることができ ④お店の視点で「より来てもらう・買ってもらえる」ためのマーケティングの基本的な考え方ができる						
評価方法と基準	グループ課題の完成度・発表　90% 授業態度・参加意欲　10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	【オリエンテーション】この授業の目的を理解し、目標設定ができる	前期目標設定
2	4月18日	講義、演習	【キャリア設計①】現在と社会人との違いを知り、社会人になるとはどういうことか理解できる	振り返りレポート
3	4月25日	講義、演習	【キャリア設計②】仕事をしていくことの意味を考え、キャリアイメージを作ることができる	キャリアノート作成
4	5月9日	講義、演習	【キャリア設計③】「どんな仕事がしたいか」だけでなく、「どのように仕事をしたいか」を考えることができる	キャリアノート作成
5	5月16日	講義、演習	【キャリア設計④】なりたい自分をイメージし、社会人1年目、3年目の目標が明確になる	キャリアノート作成
6	5月30日	講義、演習	【BC①】ビジネスコミュニケーション、ビジネスマナーとは何かを理解する	教科書復習
7	6月13日	講義、演習	【BC②】第一印象の重要性を理解し、好感度アップのポイントを実践できる	教科書復習
8	6月20日	講義、演習	【就活①】ビジネス電話の流れを理解し、研修・就活先に電話をかけることができる	教科書復習
9	6月27日	講義、演習	【就活②】面接官の立場に立ち、採用されるためのポイントがイメージできる	面接シート作成
10	7月4日	講義、演習	【就活③】就活の身だしなみに自信を持つことができる　**※スーツ着用**	面接シート作成
11	7月11日	講義、演習	【就活④】演習を通して面接のマナーを実践できる	面接シート完成
12	7月18日	講義、演習	【キャリア設計⑤】実際の仕事をリサーチし、目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	個人レポート課題
13	9月5日	講義、演習	【キャリア設計⑤】実際の仕事をリサーチし、目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	プレゼン準備
14	9月12日	試験	【前期試験】グループ発表を通して、仕事を広い視野でとらえ、就活に活かすことができる	プレゼン準備
15	9月19日	講義	【振り返り】前期の達成度と課題点を整理し、後期に向けての目標を設定できる	後期目標設定
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	院内コミュニケーションⅠ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	松井かおり
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	編集者・ライター、現在は主にカウンセラー、研修講師として活動。						
授業の学習内容	研修や就活を踏まえ、動物病院で働くうえで必要な「マインド（心）の成長」と、飼い主様対応だけでなく、スタッフ間の「コミュニケーションのスキル」を習得します。 これらを身に付けることにより、仕事上のコミュニケーションへの意識を高め、社会人の方とのコミュニケーションにも自信をつけ、自発的に他者と関わることができることを目指していきます。						
到達目標	スタッフ間コミュニケーション、クレーム対応 ① クレーム対応の基本マインドと基本スキルを身につけ、初期の対応ができる ② チームで連携するための基本のコミュニケーションスキルを身につけ、報連相を実践できる ③ 社会人としての意識やマナーを、実践レベルまで習得する						
評価方法と基準	①実技試験（授業内実施パート1・パート2） 計90% ②授業態度・ノート提出 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月11日	講義	【オリエンテーションと目標設定】この授業の目的を理解し、課題分析・目標設定ができる	事後課題・インターン時の不安や疑問を整理
2	4月18日	講義、演習	【インターン準備】インターン時の疑問点、不安点を整理し、解決のための方法を発見できる	準備課題・面接シート作成
3	4月25日	講義、演習	【面接準備】面接官の立場を体験し、面接のポイントが理解できる	準備課題・面接シート作成
4	5月9日	講義、演習	【面接準備】就活の身だしなみのポイントを理解し、自分で実践できる	準備課題・クレーム事例シート作成
5	5月16日	講義、演習	【クレーム対応】クレームを言う方の心理を理解し、クレームのとらえ方や考え方を理解できる	準備課題・クレーム対応シート作成
6	5月30日	講義、演習	【クレーム対応】クレーム対応の基本ステップを理解し、事例を通してクレームに向き合うことができる	準備課題・前期実技試験準備
7	6月13日	試験①	【前期実技試験パート1】クレーム対応実践演習 クレームの初期対応がスムーズにできる	事後課題・実技試験振り返り
8	6月20日	講義、演習	【スタッフコミュニケーション】仕事における人間関係構築の大切さとポイントを理解できる	事後課題・社会人の人間関係レポート
9	6月27日	講義、演習	【スタッフコミュニケーション】チームで仕事をする意識を身に付け、自他尊重ができる	事後課題・社会人の人間関係レポート
10	7月4日	講義、演習	【報連相と指示受け】正確に指示を受け取るために「5W2Hで聞く」で情報収集ができる	事後課題・指示受け課題の分析
11	7月11日	講義、演習	【報連相と指示受け】報告・連絡・相談の重要性を理解し、上司、先輩の立場に立った報連相のができる	事後課題・報連相課題の分析
12	7月18日	講義、演習	【報連相と指示受け】「PREP法」「ホールパート法」でわかりやすく伝えることができる	事後課題・PREP課題
13	9月5日	講義、演習	【解決志向アプローチ】問題の「解決志向」の方法を理解し、解決のために自発的に行動できる	事後課題・問題解決の自己課題を整理
14	9月12日	試験②	【前期試験パート2】報連相実践演習 上司、先輩の立場に立った報連相のができる	事後課題・実技試験振り返り
15	9月19日	講義	【振り返り】前期の到達点の確認と後期の課題設定	事後課題・ノート整理
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 実践！キャリアコミュニケーション				

科目名	コンピューター演習Ⅰ-1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	(株)ブレーンスタッフコンサルタンツ
学科・コース	ドッグトレーナー ドッグキャットスペシャリスト ペットカフェ＆リゾート専攻	授業 形態	演習	総時間 （単位）	45 1		
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのインストラクターが、 卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施。						
授業の学習内容	コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして、 各自の専門分野において有益な情報を得たりデータ加工をおこなうスキルを身に着けることができる						
到達目標	コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる 複合文章の作成（Word）、表計算や表、グラフの作成（Excel）、効果的なスライドの作成（PowerPoint）ができる						
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する。 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/11	演習	ホームポジションを理解し、タッチタイピングができる	インターネット上のイーラーニングテキストで操作手順を確認し、繰り返しの練習をとおして操作を定着させる
2	4/18	演習	ITを利用する上で、正しい知識やモラルを身につけられる	
3	4/25	演習	eラーニングテキストを使用でき、Officeの共通操作ができる	
4	5/9	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作成できる	
5	5/16	演習	より情報が伝わる、レベルの高いビジネス文書を作成できる	
6	5/30	演習	画像の透過方法、セクション区切り、ページ罫線が設定できる	
7	6/13	演習	Excelの基本操作が作成できる	
8	6/20	演習	基本的な機能を使用して資料を作成できる	
9	6/27	演習	関数やグラフを駆使したレベルの高い資料を作成できる	
10	7/4	演習	Excelレベル1,2で学習した機能を操作できる	
11	7/11	演習	データベース機能を理解し、活用できる	
12	7/18	演習	差し込み印刷機能を利用して、カードが作成できる	
13	9月5日	演習	試験対策（予定）	
14	9月12日	演習	試験（予定）	
15	9月19日	演習	振り返り（予定）	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning（インターネット上のテキスト）を使用。

科目名	Wメジャー Ⅰ	必修選択	選択	年次	－	担当教員	長嶺幸介
		授業形態	講義	総時間（単位）	1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二						
教員の略歴	牧場、ペットショップスタッフ経験を経て、現在は移動動物園スタッフとしても活動中。						
授業の学習内容	近年、エキゾチックアニマルは、動物園・水族館、ペットショップ、動物病院、のみならずカフェやふれあい施設など扱う機会が多い。基本的なエキゾチックアニマルの中でも主に哺乳類と鳥類の中からピックアップした種について、分類、行動や習性・生理などを含む生態、などを理解し、適切な取扱と飼育管理ができることを目指す。。						
到達目標	動物たちについて、正しい知識を身につける。動物たちを正しく扱うことができる。これらを踏まえて、適切な飼養管理をすることができることを目標とする。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月15日	講義	草食齧歯類について理解できる（モルモット）	
2	4月22日	講義	草食齧歯類について理解できる	前回の授業のノートを必ず読んでくる
3	5月13日	講義	草食齧歯類について理解できる（チンチラ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
4	5月20日	講義	重歯目について理解できる（ウサギ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
5	5月27日	講義	重歯目について理解できる（ウサギ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
6	6月3日	講義	食肉目について理解できる（フェレット）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
7	6月10日	講義	食肉目について理解できる（フェレット）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
8	6月17日	講義	食虫目について理解できる（ハリネズミ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
9	6月24日	講義	食虫目について理解できる（ハリネズミ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
10	7月1日	講義	雑食性齧歯類について理解できる（ハムスター）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
11	7月8日	講義	雑食性齧歯類について理解できる（ハムスター）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
12	7月22日	講義	雑食性有袋類について理解できる（フクロモモンガ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
13	9月2日	講義	鳥類について理解できる（オウム・インコ・フィンチ）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
14	9月9日	筆記試験	授業で学んだ内容の総復習ができる	前回までの授業のノートを必ず読んでくる
15	9月16日	講義	鳥類について理解できる（鶏・鶉・アヒル）	前回の授業のノートを必ず読んでくる
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

教科書は無し。参考書は必要に応じて随時。教材としては、飼育室の動物たちに協力をしてもらいます。

科目名	Wメジャー	必修選択	選択	年次	－	担当教員	藤川恵子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二	授業形態	講義・演習	単位	2		
教員の略歴	デパート等の現場経験・専門学校の講師・企業研修・オリジナルラッピングのコーディネート						
授業の学習内容	ラッピング技術のノウハウ・接客・日本のしきたりを実習形式で実施。 店舗等現場での即戦力になってほしい。 授業では、箱・包装紙・リボン等の資材を使用し、実際に包装しながら、技術を体で覚えていく。 ラッピングの2原則「手早く」「きれいに」が目標である。 「日本のしきたり」は商品を包装する習慣は日本だけなので、見本を見せながらその意味合いをレクチャーする。						
到達目標	1）ラッピングの包み方基本3パターン（合わせ包み・斜め包み・風呂敷包装）ができる。 2）インナーラッピング・袋のラッピングができる。 3）ラッピングの不定形のもの（円形・多角形）が包める。 4）基本をもとにラッピングのアレンジができる。 5）リボンの掛け方の基本（斜めリボン・十字掛けリボン）、リボンの結び方（蝶結び）がきれいにできる。 6）「日本のしきたり」が理解できる。						
評価方法と基準	1）定期試験（実技60%・筆記試験20%・出席率20%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	演習	①ラッピングの意義が理解できる ②合わせ包みができる	
2	4月22日	演習	①合わせ包みが時間制限内でできる。 ②リボンの結び方基本（蝶結び）ができる	蝶結びの練習（画像に収める）
3	5月13日	演習	①蝶結びがきれいにできる ②インナーラッピングができる	
4	5月20日	演習	①風呂敷包装ができる	
5	5月27日	演習	①風呂敷包装が時間制限内でできる ②リボンの掛け方（斜めリボン）ができる	斜めリボンの練習（画像に収める）
6	6月3日	演習	①斜め包みの基本ができる	
7	6月10日	演習	①合わせ包みのアレンジ「父の日」ができる	箱の準備（父の日用）
8	6月17日	演習	①リボンの掛け方斜めリボンがキレイ・正確にできる ②リボンの掛け方十字掛けができる	十字掛けリボンの練習（画像に収める）
9	6月24日	演習	①斜め包みができ、その箱に斜めリボン・十字掛けリボンができる	
10	7月1日	演習	①不定形（円柱）で円形ラッピングができる	
11	7月8日	演習	①不定形（六角形）の箱がラッピングできる	箱の準備（六角形）
12	7月22日	演習	①袋のラッピングとリボン掛けができる	
13	9月2日	演習	①日本のしきたりが理解できる	
14	9月14日	試験	①合わせ包みに十字掛けリボンがきれいに・手早くできる。②日本のしきたりが記することができる。	
15	9月16日	講義・演習	①試験の内容が理解できてるか自己評価できる	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

自分で作成したプリント

科目名	Wメジャー	必修選択	選択	年次	－	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二	授業形態	講義	単位	2		
教員の略歴	獣医学博士						
授業の学習内容	動物関係の仕事に携わった後、自分のゆめでもある、ペットショップやアクアショップ、トリ―ミングサロン、ドッグカフェ等で起業を考えるようになった場合の基礎的な知識を習得する。						
到達目標	将来、自分の思い描く動物関係のショップを作ろうと思った時のための、開店までの流れを勉強し、開業に向けての基礎知識を身に着ける。						
評価方法と基準	定期試験80%、授業態度と参加度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	ペット産業の国内外の発展を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
2		講義	ペット産業の市場規模や動向について理解する。	講義範囲を予習・復習する。
3		講義	動植物関係のショップの必要性を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
4		講義	様々な経営のスタイルについて理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
5		講義	経営者についての知識やノウハウを理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
6		講義	マーケティング戦略を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
7		講義	出店計画の作成のノウハウを理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
8		講義	出店計画の作成のシュミレーションができる。	講義範囲を予習・復習する。
9		講義	資金の調達方法について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
10		講義	公的な資格や届出等について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
11		講義	起業する際の心構えを、理解し、述べる。	講義範囲を予習・復習する。
12		講義	開店の準備のためのシュミレーションを理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
13		講義	開店の準備のためのシュミレーションを実践できる。	講義範囲を予習・復習する。
14		試験	講義範囲	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15		講義	振り返り	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布するプリント等やインターネットを利用する。

科目名	Wメジャー Ⅰ	必修選択	選択	年次	－	担当教員	土屋俊朗
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	水族館勤務を経て、現在はショップ店長や水草直輸入工房も経営している。						
授業の学習内容	自宅での植物の管理から、造園、販売等の仕事までできるようになる。 花を愛でる気持ち、余裕を持てるようになる。						
到達目標	野に咲く花を見分け、自宅寄せ植え、鉢植え等を四季を通じて楽しめるようになる。 簡単なガーデニングもできるようになる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4/17	講義	植物の形状や苔、藻類の違いを覚える。	外出した際に見られる植物を調べる。
2	4/24	講義	植物育成に必要な土や水について覚える。	外出した際に見られる土で、植物が多い土はどんなものか調べる。
3	5/7	講義	植物育成に必要な肥料について覚える。	販売されている具体的なものを調べる。
4	5/15	講義	植物育成に必要な機材について覚える。	販売されている具体的なものを調べる。
5	5/22	講義	簡単にできるガーデニングについて覚える。	自ら考えられる庭をスケッチしてみる。
6	5/29	講義	春に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
7	6/5	講義	春に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
8	6/12	講義	夏に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
9	6/19	講義	夏に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
10	6/26	講義	秋に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
11	7/3	講義	秋に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
12	7/10	講義	冬に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
13	9/4	講義	冬に咲く花の管理を覚える。	授業で紹介できなかった花を調べる。
14	9/11	試験	上記内容についての筆記試験。	試験の準備。
15	9/18	講義	前期を振り返り、ウィークポイントを無くす。	試験の答えを調べる。
準備学習　時間外学習			テキストは無いため、予習はインターネットや飼育書を参考にする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Wメジャー	必修選択	選択	年次	-	担当教員	佐藤　充
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼二	授業形態	講義・演習	単位	2		
教員の略歴	水族館元館長。現在は、環境教育・環境調査を主に活動している。						
授業の学習内容	水族館の基本的な知識を学習する 座学だけではなく、実験も取り入れて、より深い理解をする。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	水族館全般の基本的な知識を習得し答えることが出来る。 水族館で扱う餌のさばき方などが出来るようになる。 人前でプレゼンテーションを行うことが出来る。						
評価方法と基準	定期試験100% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	半期の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	オリエンテーションで個人目標の策定
2	講義	水族館の役割を理解することが出来る	水族館とはどのような場所なのか？映像含め説明をする
3	講義・演習	海水の塩分を計り、実際に塩分がどれくらいあるのか海水から塩を作って確かめる	塩分の量を見て理解し、塩づくりも行えるようになる
4	講義・演習	アクアルームを使って水槽の仕組みを理解する	ろ過の仕組みなど物質の循環がどのように行われているのかを見て理解する
5	講義・演習	理想の水族館を考える①	チームで自分たちの理想の水族館をデザインする
6	講義・演習	理想の水族館を考える①	チームごとに考えた水族館を発表する
7	講義	餌料①　餌の栄養素について理解する	餌の重要性が分かる。また水族館で作る餌も魚を捌くところから作ることが出来る
8	講義・演習	餌料②　実際に餌を捌いて包丁の扱いも慣れるようになる。	
9	講義・演習	トレーニングの必要性とは何か？を理解する	トレーニングの基礎を行った後、実際にトレーニングをやってもらい、基本的な技術を習得する
10	講義・演習	海外の動物園・水族館の紹介。日本の施設との違いはどのような所か比較・理解する	海外とのコンセプトの違いを理解できるようになる
11	講義	保存①　博物館の保存活動の意味を理解する	映像を使用し、標本が科学にどのように活用されているかを理解する
12	講義・演習	保存②　実際に乾燥標本を作れるようになる	実際に保存を体験し、意味をより深く理解する
13	講義・演習	海の毒生物　海水浴で危険な生物の分別と対処が出来る	顕微鏡なども使用し、生物の身を守る仕組みを理解する
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	水族館研究Ⅱ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　充
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	単位	1		
教員の略歴	水族館元館長。現在は、環境教育・環境調査を主に活動している。						
授業の学習内容	水族館の就職の試験では生物の基礎知識や計算問題が出ることが予想されます。ドルフィントレーナー専攻でも水槽の仕組みなどが試験で出題されているので、それらの弱点の克服を前提とした授業を行います。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	海洋全般の幅広い知識を習得し答えることが出来る。 試験に出るレベルの計算問題を答えることが出来る。 人前でプレゼンテーションを行うことが出来る。						
評価方法と基準	小試験20% 定期試験80% 筆記試験評価:GPA(S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義		
2	講義		
3	講義・演習		
4	講義・演習		
5	講義		
6	見学		
7	見学		
8	見学		
9	講義・演習		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	講義	テスト結果から振り返りを行うことで飼育管理の理解を深める	試験範囲からの復習
準備学習　時間外学習		事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	カラーコーディネートＩ１	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	鳥井
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	インテリアコーディネータとして1990年よりインテリア＆カラーコーディネート業務、企業研修講師						
授業の学習内容	身近すぎて特に意識をすることのない「色」は、私たちに様々なイメージを与え心理的作用をもたらす大きな力を持っています。私たちの心や身体に無限の影響を与え、「色の力で人は動く」といっても過言ではありません。 色の効果は大きく、インテリアやメイク、ファッション、建築業界、医療現場やセラピー、商品開発や広告といった多くの分野で活かされ、必要とされています。 この授業は、色彩の基礎と配色の理論を学び、講義と実習で確かな知識を習得し、効果的なカラーコーディネートができるようになります。						
到達目標	（1）カラーサークルを実際に着彩することで、三原色を基本とした配色の基本を理解できるようになる。 （2）「パーソナルカラー検定3級公式テキスト」の「色と文化」を学び、日本の色の歴史、色と生活、色の種類を理解する。 （3）自然界の配色の理論を学び、色彩のパワーを正しく理解し、活用できるようになる。						
評価方法と基準	（1）提出物（カラーサークル・コーディネートボード） 40% （2）レポート提出（前期）、筆記試験（後期） 40% （3）出席率 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	2年間の授業内容を理解し授業の目的を共有できる。カラーサークル着彩演習の準備。	着彩演習のための準備をする。 色塗りの道具をチェックする。
2	4月24日	演習	カラーサークル着彩①（三原色と純色を塗る）	テキストで三原色と純色を理解する。
3	5月8日	演習	カラーサークル着彩②（明清色を塗り理解する）	テキストで明清色を理解する。
4	5月15日	演習	カラーサークル着彩③（濁色を塗り理解する）	テキストで濁色を理解する。
5	5月22日	演習	カラーサークル着彩④（暗清色を塗り理解する）	テキストで暗清色を理解する。
6	5月29日	演習	カラーサークルを仕上げて提出し説明できる。	カラーサークル（色相環）の成り立ちを理解する。
7	6月7日	講義	テキスト第1章「色彩と文化」 四季の自然を表す色を理解できる。	テキストの「四季の自然を表す色」を読んで予習する。
8	6月12日	講義	テキスト第1章「色彩と文化」 色と生活・衣食住に関わる色を理解できる	テキストの「色と生活・衣食住」を読んで予習する。
9	6月19日	講義	自然界の配色の理論を学んで2系統の色の成り立ちを理解できる。	自然界の色（花や樹木など）を観察する。
10	6月26日	講義＆演習	ブルードミナントとイエロードミナントを理解し、自分のパーソナルカラーがわかる。	自分の身の回りの物（服やインテリア、小物等）を観察する。
11	7月3日	演習	ブルードミナントとイエロードミナントのコラージュボード用の写真を集めることができる。	インテリア雑誌、ファッション雑誌などを用意して写真を集める。
12	8月28日	校外見学	カラーコーディネートを実践している東京ディズニーランドで配色の理解を深めることができる。	東京ディズニーランドのことを事前に調べて見学するポイントをまとめる。
13	8月28日	校外見学	カラーコーディネートを実践している東京ディズニーランドで配色の理解を深めることができる。	東京ディズニーランドのことを事前に調べて見学するポイントをまとめる。
14	9月4日	演習	コラージュボードを作成することで配色のルールを理解し生活で使えるようになる。	インテリア雑誌、ファッション雑誌などを用意して写真を集める。
15	9月11日	演習	校外学習のレポートを提出し、カラーコーディネートのプレゼンテーションができる。	プレゼンテーションをするために準備をする。
準備学習　時間外学習			テキストの事前予習と授業後の復習	

【使用教科書・教材・参考書】

パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト（日本パーソナルカラリスト協会）

科目名	カラーコーディネートＩ２	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	鳥井
学科・ｺｰｽ	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	インテリアコーディネータとして1990年よりインテリア＆カラーコーディネート業務、企業研修講師						
授業の学習内容	身近すぎて特に意識をすることのない「色」は、私たちに様々なイメージを与え心理的作用をもたらす大きな力を持っています。私たちの心や身体に無限の影響を与え、「色の力で人は動く」といっても過言ではありません。 色の効果は大きく、インテリアやメイク、ファッション、建築業界、医療現場やセラピー、商品開発や広告といった多くの分野で活かされ、必要とされています。 この授業は、色彩の基礎と配色の理論を学び、講義と実習で確かな知識を習得し、効果的なカラーコーディネートができるようになります。						
到達目標	(1)「パーソナルカラ-検定3級公式テキスト」の「色彩理論」を学び、色相・明度・彩度の知識を習得することができる。 (2)「パーソナルカラ-検定3級公式テキスト」の「色彩理論」を学び、対比現象と色の感情効果を理解することができる。 (3)「パーソナルカラ-検定3級公式テキスト」の「色彩とファッション」を学び、パーソナルカラーとコーディネートの知識を習得することができる。 (4)カラーコーディネートを自分の生活に効果的に使えるようになる。						
評価方法と基準	(1)提出物　40% (2)筆記試験　40% (3)出席率　20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 物体色と光源色、光の波長と色を理解できる	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
2	4月24日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 目の構造と働き、有彩色と無彩色を理解できる	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
3	5月8日	演習	問題集に取り組み 「色の仕組み」をより理解できる	問題集に取り組んで予習と復習をする。
4	5月15日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 CUS表色系を理解できる。	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
5	5月22日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 色相配色・色調配色を理解できる	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
6	5月29日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 対比と同化を理解できる	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
7	6月7日	講義	テキスト第2章「色彩理論」 アンダートーン配色を理解できる	テキストの「色彩理論」を読んで予習する。
8	6月12日	演習	問題集に取り組み 「色の仕組み」をより理解できる	問題集に取り組んで予習と復習をする。
9	6月19日	演習	問題集に取り組み 「色の仕組み」をより理解できる	問題集に取り組んで予習と復習をする。
10	6月26日	演習	問題集に取り組み 「色の仕組み」をより理解できる	問題集に取り組んで予習と復習をする。
11	7月3日	演習	問題集に取り組み 「色の仕組み」をより理解できる	問題集に取り組んで予習と復習をする。
12	8月28日	校外見学	東京ディズニーシーで色の効果的な配色の理解を深めることができる。	東京ディズニーシーの内容を事前に調べて見学するポイントをまとめる。
13	8月28日	校外見学	東京ディズニーシーで色の効果的な配色の理解を深めることができる。	東京ディズニーシーの内容を事前に調べて見学するポイントをまとめる。
14	9月4日	演習	校外研修のレポートをまとめて「色の効果性」を発表できるようになる。	レポートを作成するための資料をまとめて準備をする。
15	9月11日	演習	校外研修のレポートをまとめて「色の効果性」を発表できるようになる。	レポートを作成するための資料をまとめて準備をする。
準備学習　時間外学習			テキストの事前予習と授業後の復習	

【使用教科書・教材・参考書】

パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト（日本パーソナルカラリスト協会）

科目名	キャットグルーミング演習	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江本
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業形態	演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ペットサロン・動物病院・商品、生体販売・ドッグトレーナー補助など様々な経験があります						
授業の学習内容	トリミング業界で行われているサービスを勉強します 日々進化する業界の流れについていき、新たな知識や技術を習得するためのカをつけます 外部の先生をお呼びし特別講義を行っていただきます						
到達目標	1）就職後活躍していくための知識、技術を習得する 2）新しいもの・事を考え、生み出す力をつける 3）ウィッグのデザインを考え、ブラッシングを終了する						
評価方法と基準	1）定期テスト40% 2）ウィッグのデザイン画提出30% 3）ウィッグのブラッシング30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月16日	講義	ペット業界におけるエステ・サービスを学習する	配布した資料を熟読する
2	4月23日	講義＋演習	フォトジェニックの背景の作り方・撮影方法を学ぶ	背景を使用し犬（ウィッグも可）と撮影をし提出
3	5月7日	講義実習	パックの種類や方法を学習する 2限～の演習の中で実践する	パックの手順、種類の復習・予習
4	5月14日	演習	グルーミング犬種にハーブパックを実践する	同一パックの犬種違いによる仕上がりの違いを レポートにまとめ提出
5	5月21日	講義実習＋演習	ネイルの方法を学ぶ・足モデルの作成を行う	足モデルの作成
6	5月28日	演習	足モデルにネイルを実践する（展示）	ウィッグのブラッシング
7	6月4日	講義実習	シルクの泡パックの手順を理解する 2限～の演習の中で実践する	ウィッグのブラッシング
8	6月11日	講義実習	アロマバスの手順を理解する 2限からの演習の中で実践する	ウィッグのブラッシング
9	6月18日	講義	デザインカット案の記入方法を学習する	ウィッグのブラッシング
10	6月25日	講義実習	犬にデザインカットを行っているところを見て 実際にカットできるデザインを考える	ウィッグのブラッシング
11	7月2日	講義実習	ポイント（耳・尾）のカラーリング方法を学ぶ	ウィッグのブラッシング
12	7月9日	演習	デザイン画記入を実践する	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
13	9月3日	特別講義	特別講師による授業を見学し、新たな知識を得る	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
14	9月10日	試験	筆記試験の実施・ウィッグ、デザイン画提出	ウィッグのブラッシング デザイン画記入
15	9月17日	講義	試験返却、ウィッグのカットを行う	ウィッグのカット
準備学習　時間外学習			予習・復習　ウィッグやネイルの準備　等	

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、演習着（演習・講義実習時）、トリミング道具、ウィッグ等

科目名	グルーミング演習Ⅱ1	必修選択	選択	年次	2.3	担当教員	佐藤
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	3		
学科・コース	エココミュニケーション科昼ー2年						
教員の略歴	ペットサロン、ショップ、動物病院勤務						
授業の学習内容	様々な就職先を考え、仕事で必要な基礎グルーミングを習得することができます。技術の向上だけなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴です。						
到達目標	グルーミング犬種を中心に1時間半以内を目安に仕上げる技術を習得することができます。						
評価方法と基準	14週目に実技試験（前期：グルーミング犬種の足周りまで1時間半～2時間以内、後期；グルーミング犬種の足周りまで1時間半以内に終了）ベーシック、コントロール、基礎グルーミングを中心に時間内に終えられるようになること						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	1年次にやってきたことを復習する	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
2		演習	1年次に学んできた爪切りをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
3		演習	1年次に学んできたクリッピングをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
4		演習	爪切り及びクリッピングのスピードアップを計り確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
5		演習	1年次に学んできた足周りのカットをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
6		演習	足周りのカットのスピードアップを計り、確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
7		演習	足周りのカットの時間を設定し、時間内に終えることができるようになる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
8		演習	足周りの時間を5分に設定し終了することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
9		演習	ベーシックを中心にシザーリングをより確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
10		演習	飾り毛のカットの技術を習得することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
11		演習	飾り毛のカットのスピードアップを計りシザーリングをより確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
12		演習	飾り毛のカットの時間を設定し時間内に終えることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
13		演習	試験前にトータル時間及び仕上がりを確実にし、問題点を解決することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
14		試験	グルーミング犬種のベーシックを中心に1時間半～2時間以内で終了することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
15		演習	半期の振り返り	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
準備学習　時間外学習			学校犬飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 各シザー、スリッカーなどのツール

科目名	グルーミング演習Ⅱ2	必修選択	選択	年次	2.3	担当教員	佐藤
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	3		
学科・コース	エココミュニケーション科昼ー2年						
教員の略歴	ペットサロン、ショップ、動物病院勤務						
授業の学習内容	様々な就職先を考え、仕事で必要な基礎グルーミングを習得することができます。技術の向上だけなく、接客、犬のコントロール、コミュニケーション能力を学ぶことができるのがこの授業の特徴です。						
到達目標	グルーミング犬種を中心に1時間半以内を目安に仕上げる技術を習得することができます。						
評価方法と基準	14週目に実技試験（前期：グルーミング犬種の足周りまで1時間半～2時間以内、後期；グルーミング犬種の足周りまで1時間半以内に終了）ベーシック、コントロール、基礎グルーミングを中心に時間内に終えられるようになること						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	1年次にやってきたことを復習する	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
2		演習	1年次に学んできた爪切りをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
3		演習	1年次に学んできたクリッピングをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
4		演習	爪切り及びクリッピングのスピードアップを計り確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
5		演習	1年次に学んできた足周りのカットをより確実なものにする	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
6		演習	足周りのカットのスピードアップを計り、確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
7		演習	足周りのカットの時間を設定し、時間内に終えることができるようになる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
8		演習	足周りの時間を5分に設定し終了することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
9		演習	ベーシックを中心にシザーリングをより確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
10		演習	飾り毛のカットの技術を習得することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
11		演習	飾り毛のカットのスピードアップを計りシザーリングをより確実なものにすることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
12		演習	飾り毛のカットの時間を設定し時間内に終えることができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
13		演習	試験前にトータル時間及び仕上がりを確実にし、問題点を解決することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
14		試験	グルーミング犬種のベーシックを中心に1時間半～2時間以内で終了することができる	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
15		演習	半期の振り返り	学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
準備学習　時間外学習			学校犬飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 各シザー、スリッカーなどのツール

科目名	ドッグサービスマインド　I	必修選択	必修	年次	1	担当教員	今村真也
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・実習等	総時間（単位）	1		
教員の略歴	動物保護シェルター代表取締役						
授業の学習内容	5世帯に1世帯が犬をペットとして飼っている日本の現状において、本専攻学生が卒業後に果たす役割は業界のみならず、社会全体にとっても大きくなっている。そのスキルを最大限に生かすためには、飼い主の持つ「マインド」を理解し、専門知識と経験を飼い主や顧客に効率的・効果的に伝える方法を習得することが有効である。その力量を持つ業界を担う人材の育成のため、飼い主に伝える知識の習得と飼い主とのコミュニケーションスキル向上を目的とする。						
到達目標	専門家としてのスキルを最大限いかすべく、以下の能力の形成を目標とする。 1）飼い主が犬と暮らす上でもつ、疑問や問題に回答出来る知識力 2）犬についての知識や経験を正確に伝えるコミュニケーション能力 3）飼い主と犬を客観的に判断するための観察力 4）自己のトレーニング能力を個別の案件に対応させる想像力						
評価方法と基準	定期試験100% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験の提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	半期の授業内容を説明し、当科目の明確な学びの目的、目標、方法を理解することができる。	ドッグライフカウンセラー教本を事前に読む
2	4月21日	講義	この講義の持つ役割と飼主の心理と愛犬との関係の見方、飼主への対応方法の基礎を学習する。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
3	5月8日	講義	人間社会とイヌとの関わりを歴史的に振り返りながら学習し「犬は家族の一員」という近年いわれるようになった背景とその現状を理解する	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
4	5月15日	講義	人間社会とイヌとの関わりを歴史的に振り返りながら学習し「犬は家族の一員」という近年いわれるようになった背景とその現状を理解する	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
5	5月22日	講義	それぞれの犬種の持つ特徴を理解し、飼い主が持つイメージとのギャップを理解する。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
6	5月29日	講義	飼い主が知っておいた方がよいレベルの犬の体と能力を確認し、基本的な質問等に答えられるようにする。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
7	6月5日	講義	飼い主が知っておいた方がよいレベルの犬の体と能力を確認し、基本的な質問等に答えられるようにする。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
8	6月12日	講義	犬の本能と習性を学び、「飼い主が犬と暮らす」ために必要な知識の理解と飼い主への適切なアドバイス方法を学習する。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
9	6月19日	講義	犬の本能と習性を学び、「飼い主が犬と暮らす」ために必要な知識の理解と飼い主への適切なアドバイス方法を学習する。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
10	6月26日	講義	犬の日常の健康状態のチェック方法や怪我の応急処置、初期の対応方法を理解し、飼い主への適切なアドバイスが行えるようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
11	7月3日	講義	犬の日常の健康状態のチェック方法や怪我の応急処置、初期の対応方法を理解し、飼い主への適切なアドバイスが行えるようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
12	7月10日	講義	現在の保護活動についての現状を知ることができる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
13	7月17日	講義	現在の保護活動についての現状を知ることができる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
14	7月24日	試験	60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	7月31日	講義	テスト結果の振り返りを行うことでこの講義の理解をさらに深める	試験範囲の復習を行う
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	
【使用教科書・教材・参考書】ドッグライフカンセラー教本『素晴らしき家族』				

科目名	ドッグサービスマインド Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	今村真也
		授業形態	講義・実習等	総時間（単位）	1		
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年						
教員の略歴	動物保護シェルター代表取締役						
授業の学習内容	5世帯に1世帯が犬をペットとして飼っている日本の現状において、本専攻学生が卒業後に果たす役割は業界のみならず、社会全体にとっても大きくなっている。そのスキルを最大限に生かすためには、飼い主の持つ「マインド」を理解し、専門知識と経験を飼い主や顧客に効率的・効果的に伝える方法を習得することが有効である。その力量を持つ業界を担う人材の育成のため、飼い主に伝える知識の習得と飼い主とのコミュニケーションスキル向上を目的とする。						
到達目標	専門家としてのスキルを最大限いかすべく、以下の能力の形成を目標とする。 1）飼い主が犬と暮らす上でもつ、疑問や問題に回答出来る知識力 2）犬についての知識や経験を正確に伝えるコミュニケーション能力 3）飼い主と犬を客観的に判断するための観察力 4）自己のトレーニング能力を個別の案件に対応させる想像力						
評価方法と基準	定期試験100% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験の提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	ドッグスポーツ、ドッグイベント等のイベントの組み立てが出来るようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
2	4月21日	講義	ドッグスポーツ、ドッグイベント等のイベントの組み立てが出来るようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
3	5月8日	講義	飼い主の相談にどう対応し、どう答えていくかをプロとして身につける	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
4	5月15日	講義	飼い主の相談にどう対応し、どう答えていくかをプロとして身につける	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
5	5月22日	講義	飼い主の相談にどう対応し、どう答えていくかをプロとして身につける	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
6	5月29日	講義	日常生活の中で多く見られる、飼い主の相談事例を使用しながら実践的な解決方法の検討とその伝え方を習得する。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
7	6月5日	講義	飼い主が知っておいた方がよいレベルの犬の体と能力を確認し、基本的な質問等に答えられるようにする。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
8	6月12日	講義	飼い主が知っておいた方がよいレベルの犬の体と能力を確認し、基本的な質問等に答えられるようにする。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
9	6月19日	講義	飼い主が知っておいた方がよいレベルの犬の体と能力を確認し、基本的な質問等に答えられるようにする。	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
10	6月26日	講義	犬の日常の健康状態のチェック方法や怪我の応急処置、初期の対応方法を理解し、飼い主への適切なアドバイスが行えるようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
11	7月3日	講義	犬の日常の健康状態のチェック方法や怪我の応急処置、初期の対応方法を理解し、飼い主への適切なアドバイスが行えるようになる	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
12	7月10日	講義	身体障害者補助犬法についての理解を深める	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
13	7月17日	講義	身体障害者補助犬法についての理解を深める	学校犬の飼育当番を時間外学習に充当する
14	7月24日	試験	60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	7月31日	講義	テスト結果の振り返りを行うことでこの講義の理解をさらに深める	試験範囲の復習を行う
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	
【使用教科書・教材・参考書】ドッグライフカンセラー教本『素晴らしき家族』				

科目名	ドッグトレーニング演習ＩＡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中川慎悟
学科・ｺｰｽ	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義演習	（単位）	2		
教員の略歴	ドッグスポーツスクール代表						
授業の学習内容	ドッグトレーナーになるために必要不可欠な基本的な知識・技術・動作等を習得する授業です。 また、犬の行動原理や生態を理解し、適切なトレーニング方法を学び、それを第三者に伝える知識と技術を学べます。 より多くの犬（個体）をトレーニングし、自らの知識や技術を他者に的確に伝えることができるプロとなれるよう、学習してください。授業は実習が中心ですが、資料を用いて犬及びトレーニングの基礎を学習します。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	オビディエンスの基本的な動作（ツイテ、スワレ、フセ、コイ、マテ）を理解する。 犬種の特性を理解し、個体によって最適なトレーニングを行うことができる。 どの犬にも基本動作（ツイテ、スワレ、フセ、コイ、マテ）を教えることができる。 環境に合わせた飼育方法やトレーニングを提案できる。						
評価方法と基準	通常授業の取組態度20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。 取組態度は担当犬の課題達成度に応じて判断する。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「犬への接し方と注意点、犬にとって人間の言葉とは？」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
2	演習	「ドッグトレーナーとしての必要な要素、トレーニングの注意点」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
3	演習	「基本動作とコマンドの意味」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
4	演習	「犬の心理」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
5	演習	「犬に動作を教える方法」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
6	演習	「オビディエンスとしつけの違い」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
7	演習	「褒め方と叱り方」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
8	演習	「オヤツの使い方」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
9	演習	「犬の行動原理、信頼関係を築くということ」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
10	演習	「古典的条件付けとオペラント条件付け」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
11	演習	「陽性強化と陰性強化」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
12	演習	「クリッカーの使い方とその理論」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
13	演習	「クリッカーの使い方」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
14	試験	筆記試験、習熟度の確認 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
15	講義・演習	テスト結果からの振り返り 前期授業の反省と後期への課題策定	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
準備学習　時間外学習		飼育当番を通じて犬に対しての生態や習性について、より深い学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】　オリジナルテキスト、トレーニング日誌

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	ドッグトレーニング演習ＩＢ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中川慎悟
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	2		
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年						
教員の略歴	ドッグスポーツスクール代表						
授業の学習内容	ドッグトレーナーになるため必要不可欠な基本的な知識・技術・動作等を習得する授業です。 また、犬の行動原理や生態を理解し、適切なトレーニング方法を学び、それを第三者に伝える知識と技術を学べます。 より多くの犬（個体）をトレーニングし、自らの知識や技術を他者に的確に伝えることができるプロとなれるよう、学習してください。 授業は実習が中心ですが、資料を用いて犬及びトレーニングの基礎を学習します。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	オビディエンスの基本的な動作（ツイテ、スワレ、フセ、コイ、マテ）を理解し、より高いレベルで実践する。 犬種の特性を理解し、個体によって最適なトレーニングを行うことができる。 どの犬にも基本動作（ツイテ、スワレ、フセ、コイ、マテ）を教えることができる。 環境に合わせた飼育方法やトレーニングを提案できる。 実際に飼い主とコミュニケーションと取り、より現場に近い状況でアドバイスができる。						
評価方法と基準	通常授業の取組態度20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA（S100～90　A89～80　B79～70　C69～60　F59～0） 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回　レポート課題（教材からの抜粋）を提示し、提出をもってCの評価とする。 取組態度は担当犬の課題達成度に応じて判断する。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「与えられたものへの反応とその効果」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
2	演習	「強制訓練」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
3	演習	「動作を定着させる為の時間と距離」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
4	演習	「人の反応速度」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
5	演習	「声符・視符（体符）」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
6	演習	「オブスタクルコマンドとディレクションコマンド」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
7	演習	「カーミングシグナル」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
8	演習	「テンションの高い犬」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
9	演習	「問題行動とは？」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
10	演習	「アルファシンドローム（権勢症候群）」を理解し実践できる。担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
11	演習	「仔犬の成長と注意点」を理解し実践できる。 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
12	演習	オーナーレッスン準備 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
13	演習	オーナーレッスン準備 担当犬トレーニング	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
14	試験	筆記試験 オーナーレッスン	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
15	講義・演習	テスト結果からの振り返り オーナーレッスン	トレーニング日誌の記入/学校犬飼育
準備学習　時間外学習		飼育当番を通じて犬に対しての生態や習性について、より深い学びの展開を促す	

【使用教科書・教材・参考書】　オリジナルテキスト、トレーニング日誌

※指示をした時のみ、タブレット端末などでの検索を許可する。

科目名	トリミング演習　Ⅱ1	必修 選択	選択	年次	2,3	担当教員	水島　綾子
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業 形態	演習	総時間 （単位）	3		
教員の略歴	ペットサロン経営、講師歴20年						
授業の学習内容	基礎となるベーシック作業から仕上げのカットまでトータルで学習することができ、トリミングの仕事をしていく上で必要な授業となります。犬のコントロールを含め、卒業後は自信を持ってトリミングの仕事が出来るように実習を通して学習して下さい。						
到達目標	・実習中に犬に接することで犬のコントロールが出来るようになる ・トリミングの基礎となる丁寧で確実なベーシック作業が出来るようになる ・細かなオーダに応じるカットが出来るようになる ・トリミングをする上で無駄のないタイムスケジュールが立てられる						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	演習	目標確認、タイムシート記入(各作業の時間を計測し、自己分析が出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
2	4月18日	演習	ベーシック作業の徹底(爪切り、耳掃除などシャンプー前作業が完璧に出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
3	4月25日	演習	ベーシック作業の時間短縮(シャンプー前のベーシック作業が30分以内で出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
4	5月9日	演習	足のカットラインの確認(見本を確認しながらのカットでカットの精度が上がる)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
5	5月16日	演習	頭部のカットの確認(見本を確認しながらオーダーに応じたカットが出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
6	5月30日	演習	全体の仕上げの確認(ベーシック～カットまでトータルで精度良い仕上がりが出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
7	6月13日	演習	試験でのペア実習スタート(試験でのお互いの作業確認が出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
8	6月20日	演習	トータル時間の意識(ペアで仕上げまでトータル1時間30分で出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
9	6月27日	演習	演習確認テスト(仕上がりと、トータル時間の自己確認が出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
10	7月4日	演習	苦手作業の確認(タイムオーバーした作業などを見直し、苦手克服出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
11	7月11日	演習	トータル時間2時間①(ペアでトータル時間を2時間で終了出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
12	7月18日	演習	トータル時間2時間②(ペア作業でのタイムスケジュールが立てられる)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
13	9月5日	演習	模擬テスト(試験と同じスケジュールで行い、平常心で試験に向かえる)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
14	9月12日	演習	テスト(実技テスト)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
15	9月19日	演習	振り返り(試験での反省が出来る)	実習ノートの作成(実習での学んだポイントや反省などを記入する)
準備学習　時間外学習			実習ノートに記入する事により理解度が増し課題や問題点が解る	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	トリミング理論Ⅱ1	必修選択	選択	年次	2,3	担当教員	水島綾子
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ペットサロン代表、講師歴20年						
授業の学習内容	各犬種のスタンダードやカットなどを学ぶことができ又、プロとして活躍していく上で必要な知識を得る事が出来る授業となります。理論で得た知識を実習で生かして下さい。						
到達目標	・各犬種別のトリミングが理解出来るようにな ・プロとしての知識を習得し、接客応対が出来るようにな ・ペットビジネスの基礎知識を習得できる						
評価方法と基準	筆記試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	トリミング（理論で学習した事の活用法と実習のタイムシートの書き方について学ぶ）	各自トリミングのスケジュールを立ててみる
2	4月18日	講義実習	プードル（足バリ、ストレート、ブーツカットの各足のカットポイントを学ぶ）	足のカットのバリエーションを図に書いてみる
3	4月25日	講義実習	シーズー、マルチーズ、ヨークシャテリア（各犬種のカットポイントを学ぶ）	犬種ごとのカットのポイントをまとめる
4	5月9日	講義	プードル①（スタンダードを理解し、クリッパーラインを学ぶ）	習ったことを復習する
5	5月16日	講義実習	プードル②（モデル犬を使い、実際にクリッパーラインを確認し、理解する）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
6	5月30日	講義実習	ビションフリーゼ（モデル犬を使い、オールシザーでのペットクリップを学ぶ）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
7	6月13日	講義	ミニチュア・シュナウザー①（スタンダードを理解し、クリッパーのラインと注意点を学ぶ）	習ったことを復習する
8	6月20日	講義実習	ミニチュア・シュナウザー②（モデル犬を使い、実際にカットラインを確認し学ぶ）	講義実習を見て気付いた事をまとめる
9	6月27日	講義	フード（フードのタイプ別の特徴や保存方法を学ぶ）	いろいろなフードを自分で調べてみる
10	7月4日	講義	接客応対①（実践で役立てるように接客のポイントを学ぶ）	接客に必要な敬語を学習する
11	7月11日	講義	接客応対②（模擬応対を通して問題点を確認し学ぶ）	接客に必要な敬語を学習する
12	7月18日	講義	ペットビジネス①（経営する上でのポイントを学習し経営シュミレーションを考えていく）	自分の理想の店舗を考える
13	9月5日	講義	小テスト（本試験に向けて学ぶ）	前期理論の復習をする
14	9月12日	講義	テスト（筆記試験）	前期理論の復習をする
15	9月19日	講義	振り返り（答案用紙返却と答え合わせをして前期の復習をする）	前期理論の復習をする
準備学習　時間外学習			事後学習をする事によりより知識や理解度が増す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	フードコーディネートⅠ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	髙橋
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ペットカフェ・コーディネーター、 ホリスティックケア／ペットアロマ・カウンセラー						
授業の学習内容	各業種で求められる人材は、「おもてなしの心」を持ち合わせている/「社会性マナー」が身に付いている点など 即戦力として高く求められます。業界で望まれる接客マナーを身に付け、人間力を高めます 本講座は、カフェなど飲食店で必要とされる、ドリンク全般の基礎知識と飲料作製の技術を学びます 座学を主としますが、より理解度を深めるため、器財を使っての実習を織り交ぜて行います。						
到達目標	①サービスマナーを理解し、お客様から喜んで貰え、満足してもらえるサービスの提供が出来る （コミュニケーショ力）（リーダーシップ力）（協調性）（積極性）（規律性）（責任性）を養 ②対価の頂けるドリンク商品の提供が出来る 「ドック・カフェ」「ペット・ショップ」「ドック・ホテル」「ドック・ラン」など（例：スターバックスコーヒー）同等のスタッフとして活躍出来る。						
評価方法と基準	①定期試験 80% 筆記試験評価：GPA（S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0） 追試験1回 レポート課題を提示し、提出をもってC評 ②実習中のコミュニケーショ、リーダーシップ、周辺への配慮、取り組む姿勢 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月12日	講義	ガイダンス：本講座の必要性を理解する カフェ講義のルール―とマナーを学ぶ	準備学習：プロフィール準備 時間外学習：講義室を探索する
2	4月19日	講義	カフェ概論とドリンク概論 業界の背景を理解し、歴史／文化を学ぶ	準備学習：caféドリンクの種類を探索す 時間外学習：café店舗を探求する
3	4月26日	講義	ミネラルウォーター概論を学ぶ 水 の種類と性質を学び、利用した調理が出来る	準備学習：店舗販売の水を探索す 時間外学習：用途別の水を試飲する
4	5月10日	講義	日本茶概論を学ぶ 茶葉の品種と分類が出来、正しく淹れられる	準備学習：店舗販売の茶葉を探索す 時間外学習：茶葉を正しく淹れ、試飲する
5	5月17日	講義	中国茶概論を学ぶ 茶葉 の品種と分類が出来、正しく淹れられる	準備学習：店舗販売の茶葉を探索す 時間外学習：茶葉を正しく淹れ、試飲する
6	5月31日	講義	紅茶概論を学ぶ 茶葉の品種と分類が出来、正しく淹れられる	準備学習：店舗販売の茶葉を探索す 時間外学習：茶葉を正しく淹れ、試飲する
7	6月14日	講義	アフタヌーンティー概論を学ぶ 2年次の実習とリンクします	準備学習：店舗探索をす 時間外学習：実食する
8	6月21日	講義	コーヒー概論を学ぶ 豆の品種と分類が出来、正しく淹れられる	準備学習：コーヒー店を探索す 時間外学習：caféにて試飲する
9	6月28日	実習	コーヒー器財の使い方を学ぶ 美味しく淹れられる	準備学習： 時間外学習：正しく淹れ、試飲する
10	7月5日	講義	エスプレッソコーヒー概論を学ぶ 正しく淹れられる	準備学習： 時間外学習：caféにて試飲する
11	7月12日	実習	エスプレッソマシーン器財の使い方を学ぶ 美味しく淹れられる	準備学習：器財を検索す 時間外学習：器財を使ってみる
12	7月19日	講義	バリエーション ホットドリンクの種類を学ぶ	準備学習：caféドリンクの種類を探索す 時間外学習(学習課題)
13	9月6日	講義	バリエーション コールドドリンクの種類を学ぶ	準備学習：caféドリンクの種類を探索す 時間外学習(学習課題)
14	9月13日	講義	筆記試験	準備学習：講義内容を見直 時間外学習：復習を行う
15	9月20日	講義	振り返り	準備学習：復習を行 時間外学習：復習を行う
準備学習 時間外学習			準備学習により講座の理解と作業進行が出来、時間外学習にて次回への展開が出来る	

【使用教科書・教材・参考書】

フードコーディネート検定テキスト プロジェクター使用・PP用プリント プリント用ファイル・筆記用具各人準備のこと

科目名	フードコーディネートⅡ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	髙橋
学科・コース	エココミュニケーション科昼ー1	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	ペットカフェ・コーディネーター、 ホリスティックケア／ペットアロマ・カウンセラー、						
授業の学習内容	各業種で求められる人材は、「おもてなしの心」を持ち合わせている/「社会性マナー」が身に付いている点などが 即戦力として高く求められます。業界で望まれる接客マナーを身に付け、人間力を高めます 本講座は、カフェなど飲食店で必要とされる、「食のトータルコーディネート」の知識と技術を学びます 講義を踏まえた上で実習を織り交ぜて行います。						
到達目標	①サービスマナーを理解し、お客様から喜んで貰え、満足してもらえるサービスの提供が出来る。 （コミュニケーショ力）（リーダーシップ力）、（協調性）（積極性）（規律性）（責任性）を養 ②カフェの「食空間トータルコーディネー」トが出来、対価の頂ける飲食の提供が出来る ③「ドック・カフェ」「ペット・ショップ」「ドック・ホテル」「ドック・ラン」など、即戦力スタッフとして活躍出来る						
評価方法と基準	①定期試験 40% 筆記試験評価：GPA（S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0） 追試験1回 レポート課題を提示し、提出をもってC評価 ②レポート提出 実習内容をまとめ、期限までに提出すること 40% ③ 実習中のコミュニケーショ、リーダーシップ、周辺への配慮、取り組む姿勢 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月12日	講義	ガイダンス：講座説明とコミュニケーショ 本講座の必要性を理解する	準備学習：プロフィール準備 時間外学習：半期の策定をする
2	4月19日	講義	テーブルデコレーション概論を学ぶ 食品色彩学を学ぶ	準備学習：器財を準備す 時間外学習：次回実習の打合せ、準備を行う
3	4月26日	実習	食品色彩の効果を学ぶ 青色の料理を作製し、効果を理解する	準備学習：器財を準備す 時間外学習：レポート作製を行う
4	5月10日	講義	料理の盛り付け方を学ぶ	準備学習：器財を準備す 時間外学習：次回実習の打合せ、準備を行う
5	5月17日	実習	カフェ飯調理実習 ワンプレートメニューの盛り付けが出来	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
6	5月31日	講義	基本のコーディネートを学ぶ	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：実習打合せ、準備、市場研究
7	6月14日	実習	バーティーメニュー調理実習 テーブルデコレーションと盛り付けが出来	準備学習：器財/食材を準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
8	6月21日	講義	イギリスの食文化を学ぶ	準備学習：器財の準備す 時間外学習：実習打合せ、準備、市場研究
9	6月28日	実習	アフタヌーンティーの調理実習 マナーと作法を学ぶことが出来る	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
10	7月5日	実習	イギリス伝統料理の調理実 キャロットスープと盛り付けが出来る	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
11	7月12日	講義	スペイン・イタリア食文化を学	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：実習打合せ、準備、市場研究
12	7月19日	実習	スペインの定番料理の調理実 トマトスープと盛り付けが出来る	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
13	9月6日	講義	カフェ飯調理実習のメニュー考案する	準備学習：器財の準備す 時間外学習：ワークシート作製、市場研究
14	9月13日	講義	筆記試験 振り返	準備学習：講義内容を見直 時間外学習：復習を行う
15	9月20日	実習	実技試験 ワンプレートカフェ飯と盛り付けが出来	準備学習：器財/食材の準備す 時間外学習：レポート作製、市場研究
準備学習 時間外学習			準備学習により講座の理解と作業進行が出来、時間外学習にて次回への展開が出来る	

【使用教科書・教材・参考書】

フードコーディネート検定テキスト プロジェクター使用・PP用プリント プリント用ファイル／バインダー・筆記用具各人準備のこと

科目名	英会話	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
		授業形態	講義	総時間（単位）	45 1		
学科・コース	エコ・コミュニケーション科						
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	L1 挨拶が出来るようになる アセスメントテスト	オンラインプラクティス　L 1
2		講義	L2 L3 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス　L2　L3
3		講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス　L6
4		講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス　L8
5		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L9　L10
6		講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる	オンラインプラクティス　L11
7		講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L7 L13
8		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス　L14
9		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L19 L20
10		講義	L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L23
11		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L28
12		講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L29 L30
13		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L32
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振返り	振返り	
準備学習　時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	英会話	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科	授業形態	講義	総時間（単位）	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	L1 L2 挨拶が出来るようになる アセスメントテスト	オンラインプラクティス　L 1　L2
2		講義	L3 L4 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス　L3　L4
3		講義	L5 好き嫌いを表現出来るようになる	オンラインプラクティス　L5
4		講義	L6 相手の好きなものについて質問が出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス　L6
5		講義	L7 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L7
6		講義	L8 相手の意見を聞くことが出来るようになる 自分の意見を言うことが出来るようになる	オンラインプラクティス　L8
7		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L9 L10
8		講義	L11 L12 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる 相手の服装について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L11 L12
9		講義	L13 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L13
10		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス　L14
11		講義	L15 あるものの順番について質問が出来るようになる あるものの順番について説明が出来るようになる	オンラインプラクティス　L15
12		講義	L16 学校外での活動について質問出来るようになる 学校外での活動について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L16
13		講義	L17 ある場所について質問出来るようになる ある場所について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L17
14		定期試験	定期試験	
15		振返り	振返り	
準備学習　時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	英会話	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・ｺｰｽ	エコ・コミュニケーション科	授業形態	講義	総時間（単位）	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	L18 相手に提案を求めることが出来るようになる 相手に提案をすることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L18
2		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L19　L20
3		講義	L21 あるものの値段について尋ねることが出来るようになる あるものの値段を教えることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L21
4		講義	L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L23
5		講義	L25 あるものの量について質問出来るようになる あるものの量について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス　L25
6		講義	L26 相手の必要なものを尋ねることが出来るようになる 必要なものを説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L26
7		講義	L27 食生活について説明出来るようになる 健康的な食事について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス　L27
8		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L28
9		講義	L29 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる1	オンラインプラクティス　L29
10		講義	L30 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる2	オンラインプラクティス　L30
11		講義	L31 ある出来事を説明出来るようになる 出来事を聞いて反応出来るようになる 過去の体験について話したり尋ねたりすることが出来るようになる	オンラインプラクティス　L31
12		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス　L32
13		講義	復習	
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振返り	振返り	
準備学習　時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	外科動物看護実習Ⅰ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	早川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・実習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	実際に学校内で外科手術を行うのを目標として、手術室の清掃管理から、器具などの取り扱い、事前の準備などを、実際の器具を用いながら学んでいく。卒業後に動物病院に就職した場合、基本的な手術準備ができるような知識を身に着ける。						
到達目標	外科手術がスムースに行えるように、手術室の清掃・管理ができる。 手術前に必要な器具が用意し、滅菌しておくことができる。 手術に必要な器具や薬品などの在庫管理ができる。						
評価方法と基準	実技試験：100%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	実習	**手術室のガイダンス**:手術室の清掃を行い、手術室にある機械などの使い方と名称を覚える	予習45分：日頃から手術室に関心を持つ 復習45分：機械類の名前を覚える
2	4月24日	講義	**滅菌について:**滅菌の目的を理解する。各種滅菌方法の種類とその特徴を理解できる。	予習45分：滅菌について教科書を熟読する 復習45分：滅菌方法の種類と分類を覚える
3	5月8日	講義	**消毒について**:消毒の方法と、消毒薬の種類とその特徴を理解し、使い分けられるようにする。	予習45分：飼育管理で使っている消毒薬の成分名を調べる。 復習45分：飼育管理で使っている消毒薬の使い分けを検討する。
4	5月15日	実習	**滅菌の方法**:滅菌機（ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ・EOG滅菌機）の使い方をマスターする。	予習45分：オートクレーブとEOG滅菌機をよく観察する。 復習45分：滅菌機の取り扱い説明書を熟読する。
5	5月22日	講義	**布製品の滅菌方法1**:手術で使用する布製品名称を覚えることと、それぞれの特殊な畳み方ができるようになる。	予習45分：手術で使う布製品について調べる。 復習45分：布製品の畳み方を3回繰り返す。
6	5月29日	実習	**布製品の滅菌方法2**:実際に布製品を準備し、滅菌バックにいれパッキングできるようにする。	予習45分：再度オートクレーブとEOG滅菌機の取り扱い説明書を熟読する。 復習45分：滅菌バックのパッキングを確認する。
7	6月5日	講義	**外科器具2**:外科器具の種類と使用方法を覚える。	予習45分：手術室にある外科器具を観察する。 復習45分：本日勉強した外科器具の名前を確実に覚える。
8	6月12日	講義	**外科器具2:**外科器具の種類と使用方法を覚える。	予習45分：手術室にある外科器具を観察する。 復習45分：本日勉強した外科器具の名前を確実に覚える。
9	6月19日	実習	**器具台の準備方法と、滅菌器具の取り出し方法**:器具台の準備方法と滅菌器具の開封方法ができるようになる。	予習45分：必要な外科器具の準備をする。 復習45分：器具台の準備を3回行う。
10	6月26日	講義	**手術時の手洗い方法**:手術時の特殊な手洗いの方法とその目的について理解する。	予習45分：自分のグローブの大きさを確認する。 復習45分：手洗い～グローブの装着方法を再確認する。
11	7月3日	実習	**ガウンの装着方法:**手洗い後のガウンの着方、着せ方、グローブのはめ方を習得する。	予習45分：手洗いで使用する消毒薬を確認する。 復習45分：ガウンを着せられるようになる。
12	7月10日	講義	**術野の剃毛と消毒:**術野の剃毛方法、消毒方法とその目的を理解する。	予習45分：術野の消毒薬を確認しておく。 復習45分：きれいな剃毛ができるように練習する。
13	9月4日	実習	**前期のまとめ:**前期に学んだことを総復習し、実技テストの目的を理解する。	予習45分：前期の復習。 復習45分：テストの準備を行う。
14	9月11日	実習	**テスト**：グループごとの実技試験	予習45分：テストの準備をする。 復習45分：テストの反省をする。
15	9月18日	講義	**テスト解説:**テストの採点方法と、減点部分の解説から、手術に向けて必要なことを再確認する。	予習45分：テスト見直し 復習45分：手術に向けてグループで必要な話し合いをする。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動物医療関連法規	必修選択	選択	年次	2	担当教員	土門綾華
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医師。						
授業の学習内容	獣医療を取り巻く法規について理解を深める。合わせて、動物倫理・動物福祉の考え方を身につける。						
到達目標	プロフェッショナルとして知っておくべき法規に関する知識や倫理観を習得し、これらを下地として、専門職、とりわけ獣医療を通して社会に貢献する。						
評価方法と基準	評価方法は、出席率、授業態度、試験成績により総合的に評価をする。評価基準は学校の規定に準ずる。 定期テスト100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	法について学ぶ意義を知る	授業ノートの復習
2		講義	専門職としての基盤を形成する。	授業ノートの復習
3		講義	動物看護師の職務を正しく認識する。	授業ノートの復習
4		講義	診療施設開設や管理、広告制限等を学ぶ。	授業ノートの復習
5		講義	家畜衛生法関連を理解する。	授業ノートの復習
6		講義	感染症法について理解する。	授業ノートの復習
7		講義	狂犬病予防について理解する。	授業ノートの復習
8		講義	食品に関連する法の目的、概要を理解する。	授業ノートの復習
9		講義	薬事法について理解する。	授業ノートの復習
10		講義	愛護と管理の法について理解する。	授業ノートの復習
11		講義	廃棄物処理法を正しく理解する。	授業ノートの復習
12		講義	外来法について理解する。	授業ノートの復習
13		講義	鳥獣保護法について理解する。	授業ノートの復習
14		試験	講義内容の理解度をはかる。	授業ノートの復習
15		試験の復習	全13回の講義内容を復習する。	テストの復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動物栄養学1	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	酒谷
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の心臓病および腎臓病の研究中						
授業の学習内容	授業形式としては，独自で作成したスライドを配布するので，それに書き込みながら学んでいただくというものです。 内容としては，犬・猫の栄養学についてであり，必要な知識を深めることはもちろんのこと，実際に動物のご家族に伝えたり，アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 5大栄養素の特徴について説明することができる。 2) 犬・猫のBCSを評価し，適切な食事量を算出することができる。 3) 犬・猫に与えてはいけない食物を理解し，その理由を説明することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験：90%（14週目に筆記試験を実施） 2. 講義中の態度および出席率: 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義	5大栄養素（5大栄養素の特徴，そして栄養学を学ぶことの重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
2	4月22日	講義	炭水化物（栄養素の特徴，そして糖質と繊維の違いを理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
3	5月13日	講義	たんぱく質（栄養素の特徴，そして犬・猫の必須アミノ酸の役割を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
4	5月20日	講義	脂質（栄養素の特徴，そして犬・猫の必須脂肪酸の役割を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
5	5月27日	講義	ビタミン ①（脂溶性ビタミンの特徴，そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
6	6月3日	講義	ビタミン ②（水溶性ビタミンの特徴，そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
7	6月10日	講義	ミネラル（ミネラルの特徴，そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
8	6月17日	講義	エネルギー要求量（RER，DERなど）の意味，そして計算方法を理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
9	6月24日	講義	栄養状態の評価法（BCS，体脂肪率など），そして飼養標準（AAFCO）について理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
10	7月1日	講義	ライフステージ（成長期，維持期，高齢期など）を考慮した上での栄養管理の特徴が理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
11	7月8日	講義	ペットフードの種類，そして分類について理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
12	7月22日	講義	犬・猫に与えてはいけない食物，そして中毒について理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
13	9月2日	演習・講義	前期の授業内容の総復習	1.5時間：授業スライドの復習
14	9月9日	定期試験	定期試験の実施（筆記試験）	1.5時間：授業スライドの復習
15	9月16日	振り返り	定期試験の解説	1.5時間：試験問題の見直し・復習
準備学習　時間外学習			指定教科書での学習で充当。	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書 増補改訂版，第4巻（緑書房）

科目名	動物栄養学2	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	酒谷
学科・コース	エココミュニケーション科昼ー1年	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の心臓病および腎臓病の研究中						
授業の学習内容	授業形式としては，独自で作成したスライドを配布するので，それに書き込みながら学んでいただくというものです。 内容としては，犬・猫の療法食についてであり，必要な知識を深めることはもちろんのこと，実際に動物のご家族に伝えたり，アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 各療法食の栄養学的特徴を理解し，説明することができる。 2) 強制給餌の必要性，実施方法に関する知識を取得することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験：90%（14週目に筆記試験を実施） 2. 講義中の態度および出席率: 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月7日	―	海外研修	―
2	10月14日	講義	療法食 ①（心臓病での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
3	10月21日	講義	療法食 ②（関節疾患での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
4	10月28日	講義	療法食 ③（癌での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
5	11月4日	講義	療法食 ④（食物アレルギーでの栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
6	11月11日	講義	療法食 ⑤（腎臓病での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
7	11月18日	講義	療法食 ⑥（尿石症での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
8	11月25日	講義	療法食 ⑦（糖尿病での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
9	12月2日	講義	療法食 ⑧（肝臓病での栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
10	12月9日	講義	療法食 ⑨（便秘に対する栄養管理の重要性が理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
11	12月16日	講義	療法食 ⑩（肥満に対する栄養管理の重要性，そして減量プログラムの作成法を理解できる）	1.5時間：指定教科書にて予復習
12	1月6日	講義	強制給餌および経管・ 静脈栄養法の特徴，そして実施上の注意点を理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
13	1月20日	演習・ 講義	後期の授業内容の総復習	1.5時間：授業スライドの復習
14	1月27日	定期試験	定期試験の実施（筆記試験）	1.5時間：授業スライドの復習
15	2月3日	振り返り	定期試験の解説	1.5時間：試験問題の見直し・ 復習
準備学習　時間外学習			指定教科書での学習で充当。	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書 増補改訂版，第4巻（緑書房）

科目名	動物疾病看護学Ⅰ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	島田
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	2		
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	基本的な解剖生理学を理解したうえで、臨床現場で遭遇する疾病における病態・検査、治療方法を学習する。これらを通じ動物看護師に必要な疾病に関する基本知識を習得することを目的とする。						
到達目標	病名から病気をイメージすることができるようになる。簡単なオーナー対応に必要な病気の知識を身につける。診断に必要な検査を予測できるようになる。看護をする際の疾病ごとの注意点が分かるようになる。						
評価方法と基準	筆記試験100% （毎授業行う小テスト並びに期末の筆記試験の成績を総合的に評価）						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月13日	講義	概論（疾病の診断・治療の流れを把握し、一般的な身体検査の方法を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番
2	4月20日	講義	口腔の解剖生理（歯・舌・唾液腺・咀嚼筋の仕組みを理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
3	4月27日	講義	口腔内疾患（歯肉炎や歯周病の相違点、口蓋裂、口腔内腫瘍などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
4	5月11日	講義	消化管の解剖生理（食道・胃・腸の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
5	5月18日	講義	消化管疾患（食道内異物、GDV、胃炎などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
6	5月25日	講義	消化器の解剖生理(肝臓・胆嚢・膵臓の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
7	6月1日	講義	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患（胆嚢粘液嚢腫、膵外分泌不全などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
8	6月15日	講義	循環器の解剖生理（心臓・血管の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
9	6月22日	講義	循環器疾患（PDAのような先天性心疾患や僧帽弁閉鎖不全症などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
10	6月29日	講義	呼吸器の解剖生理（気管や肺の構造や呼吸の生理を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
11	7月6日	講義	呼吸器疾患（気管虚脱や喉頭麻痺、BAOSなどが具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
12	7月13日	講義	皮膚の解剖生理（皮膚の構造や汗腺の分類/働きを理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
13	9月7日	講義	皮膚・耳の疾患（マラセチア、犬糸状菌症、ヒゼンダニなどが具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/テストへの準備
14	9月14日	講義	テスト	学校犬・猫の飼育当番
15	9月21日	講義	振り返り（テストの間違いを理解し具体的に説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 テストの復習
準備学習　時間外学習			学校犬・猫の飼育当番　授業ノートの補完/小テストへの準備	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書　第3巻（緑書房）、イラストでみる犬の病気　（講談社）、イラストでみる猫の病気　（講談社）

科目名	動物疾病看護学Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	島田
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	2		
学科・コース	エココミュニケーション科昼一2年						
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	基本的な解剖生理学を理解したうえで、臨床現場で遭遇する疾病における病態・検査、治療方法を学習する。これらを通じ動物看護師に必要な疾病に関する基本知識を習得することを目的とする。						
到達目標	病名から病気をイメージすることができるようになる。簡単なオーナー対応に必要な病気の知識を身につける。診断に必要な検査を予測できるようになる。看護をする際の疾病ごとの注意点が分かるようになる。						
評価方法と基準	筆記試験100% （毎授業行う小テスト並びに期末の筆記試験の成績を総合的に評価）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月13日	講義	概論（疾病の診断・治療の流れを把握し、一般的な身体検査の方法を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番
2	4月20日	講義	口腔の解剖生理（歯・舌・唾液腺・咀嚼筋の仕組みを理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
3	4月27日	講義	口腔内疾患（歯肉炎や歯周病の相違点、口蓋裂、口腔内腫瘍などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
4	5月11日	講義	消化管の解剖生理（食道・胃・腸の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
5	5月18日	講義	消化管疾患（食道内異物、GDV、胃炎などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
6	5月25日	講義	消化器の解剖生理(肝臓・胆嚢・膵臓の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
7	6月1日	講義	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患（胆嚢粘液嚢腫、膵外分泌不全などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
8	6月15日	講義	循環器の解剖生理（心臓・血管の構造や役割を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
9	6月22日	講義	循環器疾患（PDAのような先天性心疾患や僧帽弁閉鎖不全症などを具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
10	6月29日	講義	呼吸器の解剖生理（気管や肺の構造や呼吸の生理を理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
11	7月6日	講義	呼吸器疾患（気管虚脱や喉頭麻痺、BAOSなどが具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
12	7月13日	講義	皮膚の解剖生理（皮膚の構造や汗腺の分類/働きを理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/小テストへの準備
13	9月7日	講義	皮膚・耳の疾患（マラセチア、犬糸状菌症、ヒゼンダニなどが具体的に理解・説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 授業ノートの補完/テストへの準備
14	9月14日	講義	テスト	学校犬・猫の飼育当番
15	9月21日	講義	振り返り（テストの間違いを理解し具体的に説明できる）	学校犬・猫の飼育当番 テストの復習
準備学習　時間外学習			学校犬・猫の飼育当番　授業ノートの補完/小テストへの準備	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書　第3巻（緑書房）、イラストでみる犬の病気　（講談社）、イラストでみる猫の病気　（講談社）

科目名	臨床動物看護学Ⅰ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	宮川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	この授業は犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる検体の採取方法や取り扱い方、輸液や輸血の看護の仕方、薬剤の計算方法など看護において必要となる内科知識を学ぶことが目的です。この授業を踏まえて、「動物内科看護学実習」でさらに技術を身につけます。						
到達目標	1）保定からバイタルチェックなど日常検査の仕方を学ぶ 2）血液検査や尿検査で必要な検体の扱い方を学ぶ 3）輸液や輸血の原理と看護の方法を理解する 4）看護で必要となる最低限の薬剤、栄養学を理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	問診から検査の概要、日常検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月18日	講義	身体検査の必要性と評価方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	4月25日	講義	感染・消毒について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月9日	講義	血液検査における採血方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月16日	講義	尿検査における採尿方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月30日	講義	検査と検体の取り扱いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月13日	講義	看護に必要な栄養学を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月20日	講義	輸液の原理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月27日	講義	輸血の原理と必要な検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	7月4日	講義	輸液・輸血の看護を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月11日	講義	薬剤の種類と取り扱いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月18日	講義	投薬方法と計算方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	9月5日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月12日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月19日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	臨床動物看護学Ⅱ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	宮川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	この授業は犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる検体の採取方法や取り扱い方、輸液や輸血の看護の仕方、薬剤の計算方法など看護において必要となる内科知識を学ぶことが目的です。この授業を踏まえて、「動物内科看護学実習」でさらに技術を身につけます。						
到達目標	1）保定からバイタルチェックなど日常検査の仕方を学ぶ 2）血液検査や尿検査で必要な検体の扱い方を学ぶ 3）輸液や輸血の原理と看護の方法を理解する 4）看護で必要となる最低限の薬剤、栄養学を理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	問診から検査の概要、日常検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月18日	講義	身体検査の必要性と評価方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	4月25日	講義	感染・消毒について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月9日	講義	血液検査における採血方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月16日	講義	尿検査における採尿方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月30日	講義	検査と検体の取り扱いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月13日	講義	看護に必要な栄養学を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月20日	講義	輸液の原理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月27日	講義	輸血の原理と必要な検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	7月4日	講義	輸液・輸血の看護を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月11日	講義	薬剤の種類と取り扱いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月18日	講義	投薬方法と計算方法を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	9月5日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月12日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月19日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物看護実習Ⅰ	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	宮川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	実習	総時間（単位）	2		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	この授業は犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技（採血法、採尿法、薬剤調整、補液、輸血など）を身につけ、「動物内科看護学」の知識の定着を図ることが目的です。						
到達目標	1）保定からバイタルチェックなど日常検査の仕方を学ぶ 2）血液検査や尿検査で必要な検体の扱い方を学ぶ 3）輸液や輸血の原理と看護の方法を理解する 4）看護で必要となる最低限の薬剤、栄養学を理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義+演習	適切な保定と日常検査の技術を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
2	4月18日	講義+演習	適切な保定とBCS・バイタルチェックの技術を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
3	4月25日	講義+演習	シリンジの扱い方を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
4	5月9日	講義+演習	採血方法を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
5	5月16日	講義+演習	抗凝固剤と止血方法を理解する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
6	5月30日	講義+演習	血液検体の処理を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
7	6月13日	講義+演習	採尿方法を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
8	6月20日	講義+演習	検体処理の仕方を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
9	6月27日	講義+演習	採便方法と処理の仕方を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
10	7月4日	講義+演習	爪切り、耳掃除、肛門嚢絞りを習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
11	7月11日	講義+演習	口腔内検査並びに歯ブラシを習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
12	7月18日	講義+演習	生体検査など必要となる保定方法を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
13	9月5日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月12日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月19日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			学校犬飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物病理学	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	河南圭子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	（単位）	1		
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務 （実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当）						
授業の学習内容	様々な疾病がもたらす生体の変化について学び、病気の原因と成り立ち、修復と再生の経過、炎症、腫瘍の病態について学習する。						
到達目標	病気の原因や成り立ち、経過を把握し動物の病気を内側から理解することで ① 疾病動物に対して有効で正しい看護方針を立てることができる。 ② 病気の早期発見および予防ができるようになる						
評価方法と基準	① 定期試験 50%（14週目に筆記試験を実施） ② 中間試験 20%（7週目に筆記試験を実施） ③ 授業態度・出席数 30%						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	病理学の目的と種類、恒常性の維持と疾病の関係について説明できる。	配布プリントの復
2	4月23日	講義・演習	細胞傷害因子と細胞傷害の過程について説明できる。	動物看護の教科書 第3巻 P8―9
3	5月7日	講義	退行性変化に含まれる病態と変化について説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P10―15
4	5月14日	講義・演習	代表的な細胞変性の種類、壊死とアポトーシスの機序の違い、萎縮の定義と原因を説明できる。	動物看護の教科書 第3巻 P16 練習問題の見直し
5	5月21日	講義・演習	進行性変化に含まれる病態と変化について説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P17-18
6	5月26日	講義・演習	組織の創傷と治癒過程、肉芽組織の構成成分を説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P 18 練習問題の見直し
7	6月4日	演習	中間試験（筆記試験の実施・解答解説）・振り返り	これまでの練習問題の復習
8	6月11日	講義・演習	循環障害の病態・水腫と浮腫・充血とうっ血・出血と止血について説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P21-25
9	6月18日	講義・演習	血栓・塞栓・虚血・梗塞・ショックの病態を説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P19―20
10	6月25日	講義・演習	炎症の原因と経過・分類とその病態について説明することができる。	動物看護の教科書 第3巻 P22―23
11	7月2日	講義・演習	アレルギーの種類と病態、免疫不全の病態について説明できる。	配布プリントの復習・練習問題の見直し
12	7月9日	講義・演習	腫瘍の定義と分類、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて説明できる。	動物看護の教科書 第3巻 P26 配布プリントの復習 練習問題の見直し
13	9月3日	講義・演習	先天異常を要因別に説明でき、病理組織標本の作製方法について説明できる。	動物看護の教科書 第3巻 P28-29 配布プリントの復習 練習問題の見直し
14	9月10日	演習	前期テスト（筆記試験） 60点以上合格	中間試験・練習問題の見直し
15	9月17日	講義・演習	振り返り（筆記試験できなかった問題をできるようにする）	前期試験問題の復習
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書 第3巻 緑書房

科目名	動物福祉論	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	宮川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	この授業は犬猫など身近な動物から、牛や豚など人の生活を支える産業動物・実感動物、野生動物など我々と関わる動物たちの生活や権利・福祉を学ぶことが目的です。人と動物のより良い社会について考えます。						
到達目標	1）動物たちの起源を学び、その種の特性にあった生活環境を理解する 2）動物愛護法や狂犬病予防法など動物を扱う上で必要な法律・規則を理解する 3）動物の福祉を動物の種類ごとに理解する 4）人と動物のより良い社会関係を考える						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施）						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	動物福祉の考え方と概論を学ぶ	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月18日	講義	犬猫や産業動物の起源を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	4月25日	講義	西欧と日本の動物観の変遷について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月9日	講義	産業動物の衛生環境を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月16日	講義	アニマルセラピーなど人との関係を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	5月30日	講義	ペットロスや安楽死など動物の死を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月13日	講義	動物愛護法について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月20日	講義	動物の権利と福祉について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月27日	講義	動物介在活動など人に与える影響を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	7月4日	講義	動物病院の福祉について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月11日	講義	産業動物の福祉について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月18日	講義	展示動物の福祉について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	9月5日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月12日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月19日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物臨床検査学	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
		授業 形態	実習	総時間 （単位）	1		
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年						
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1．『健康な動物』について知ることが出来る 2．臨床検査について理解することが出来る 3．臨床検査結果について理解することが出来る 4．獣医師の指導のもと、オーナー様へ的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1．定期試験：50％ 2．提出物及び確認テスト：20％（提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない） 3．飼育当番への参加：10％（1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う） 4．授業中の態度・参加意欲・：20％（参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う） ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2	4月19日	講義	身体一般検査を理解できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3	4月26日	講義・演習	身体一般検査を評価できる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4	5月10日	講義・演習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5	5月17日	講義	動物の保定について理解できる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6	5月31日	講義	検査機器の使用手順・各部名称が理解できる 簡易染色の手順を理解できる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7	6月14日	講義	尿検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8	6月21日	講義	糞便検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9	6月28日	小テスト	振り返り・復習が出来る（前期の評価対象外） 注射器の取り扱い注意点を知ることができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10	7月5日	講義	採血時の保定について理解できる 血液処理について理解・実施できる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11	7月12日	講義	ヘマトクリット管の実施方法・評価について理解できる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12	7月19日	講義	セルタックの実施方法・評価について理解できる 血液検査（ヘマトクリット管）ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13	9月6日	講義	血液検査（セルタック・ヘマトクリット管）ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14	9月13日	試験	前期試験の実施（筆記）	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15	9月20日	講義	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習　時間外学習			飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】
動物看護実習テキスト・筆記用・電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント・動物看護の教科書1.3.4.5巻

科目名	動物臨床検査学実習Ｉ1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
		授業 形態	実習	総時間 （単位）	1		
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年						
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	１．『健康な動物』について知ることが出来る ２．臨床検査について理解することが出来る ３．臨床検査結果について理解することが出来る ４．獣医師の指導のもと、オーナー様へ的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	１．定期試験：50％ ２．提出物及び確認テスト：20％（提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない） ３．飼育当番への参加：10％（1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う） ４．授業中の態度・参加意欲・：20％（参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う） ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2	4月19日	講義	身体一般検査を理解できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3	4月26日	講義・演習	身体一般検査を評価できる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4	5月10日	講義・演習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5	5月17日	講義	動物の保定について理解できる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6	5月31日	講義	検査機器の使用手順・各部名称が理解できる 簡易染色の手順を理解できる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7	6月14日	講義	尿検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8	6月21日	講義	糞便検査の必要性・実施方法・評価について理解できる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9	6月28日	小テスト	振り返り・復習が出来る（前期の評価対象外） 注射器の取り扱い注意点を知ることができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10	7月5日	講義	採血時の保定について理解できる 血液処理について理解・実施できる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11	7月12日	講義	ヘマトクリット管の実施方法・評価について理解できる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12	7月19日	講義	セルタックの実施方法・評価について理解できる 血液検査（ヘマトクリット管）ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13	9月6日	講義	血液検査（セルタック・ヘマトクリット管）ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14	9月13日	試験	前期試験の実施（筆記）	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15	9月20日	講義	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習　時間外学習			飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】
動物看護実習テキスト・筆記用・電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント・動物看護の教科書1.3.4.5巻

科目名	病原体・衛生管理	必修選択	選択	年次	1年	担当教員	早川
学科・コース	エココミュニケーション科昼一1年	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	1		
教員の略歴	獣医師						
授業の学習内容	感染症の成り立ちを理解し、主たる感染症の原因、感染経路、症状、治療法を学ぶ。 また、感染症を理解することで、院内感染の防止にもつなげることができる。						
到達目標	犬と猫のワクチンの仕組みと予防できる病気について飼い主様に説明できる。 フィラリア感染症の病態や、予防薬について飼い主様に説明できる。 外部寄生虫とその治療と予防を飼い主様に説明できる。						
評価方法と基準	筆記試験：100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	4月17日	講義	**感染症とは**:感染症の定義と三要素について、理解する。	予習45分：インフルエンザについて調べる 復習45分：感染の三要素を理解し覚える。
2	4月24日	講義	**感染と発症**:潜伏期について、キャリアーやベクター、宿主について理解する。	予習45分：宿主について調べる。 復習45分：輸液剤ごとの特性を復習する。
3	5月8日	講義	**感染経路**:感染経路とは何かを理解し、感染経路の種類を説明できるようにする。	予習45分：感染経路の種類を調べる。 復習45分：感染経路を説明できるようにする。
4	5月15日	講義	**フィラリアについて**:フィラリアの生活環を学び、駆虫薬の重要性と注意点を飼い主様に説明できるようになる。	予習45分：フィラリアの予防薬の種類を調べる。 復習45分：飼い主様にフィラリアについて説明できるようにする。
5	5月22日	講義	**イヌのワクチンについて1**:イヌのワクチンについて理解し、ワクチン接種時の注意点についてオーナーへ説明できるようにする。	予習45分：イヌのワクチンの種類について調べてみる。 復習45分：イヌのワクチンについて飼い主様に説明できるようにする。
6	5月29日	講義	**イヌのワクチンについて2**:イヌのワクチンについて理解し、ワクチネーションプログラムについてオーナーへ説明できるようにする。	予習45分：仔犬のワクチンについて調べてみる。 復習45分：イヌのワクチネーションを説明できるようにする。
7	6月5日	講義	**ネコのワクチンについて1**:ネコのワクチンについて理解し、ワクチン接種時の注意点についてオーナーへ説明できるようにする	予習45分：ネコのワクチンの種類について調べてみる。 復習45分：ネコのワクチンについて飼い主様に説明できるようにする。
8	6月12日	講義	**ネコのワクチンについて2**:ネコのワクチンについて理解し、ワクチネーションプログラムについてオーナーへ説明できるようにする	予習45分：仔猫のワクチンについて調べてみる。 復習45分：ネコのワクチネーションを説明できるようにする。
9	6月19日	講義	**ウイルス・細菌・真菌の違いについて**:ウイルス、細菌、真菌の違いを理解	予習45分：ウイルス、細菌、真菌の代表的疾患を調べてみる。 復習45分：ウイルス、細菌、真菌の違いを復習する。
10	6月26日	講義	**ウイルス感染症**:イヌとネコのワクチンでは予防することができない感染症の病態、臨床症状、治療法、予防について学ぶ	予習45分：ネコ伝染性腹膜炎について調べる。 復習45分：ネコのウイルス性疾患について復習する。
11	7月3日	講義	**細菌感染症1**:代表的な皮膚の細菌感染症を学ぶ。	予習45分：イヌネコで代表的な皮膚細菌感染の細菌は何か調べる。 復習45分：シャンプーの仕方を飼い主様に説明できるようにする。
12	7月10日	講義	**細菌感染症2**:泌尿器感染症について理解する。	予習45分：膀胱炎の代表的な原因菌を調べる。 復習45分：膀胱炎の治療方法と注意点を覚える。
13	9月4日	講義	**前期のまとめ**:前期に学んだことを総復習し、筆記テストの要点を理解する。	予習45分：前期の復習。 復習45分：テストの準備を行う。
14	9月11日	講義	**テスト**:筆記試験	予習45分：テストの準備をする。 復習45分：テストの反省をする。
15	9月18日	講義	**テスト解説**:テストの解説と、配点の発表。間違った部分を再度回答し理解する。	予習45分：テスト見直し 復習45分：手術に向けてグループで必要な話し合いをする。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】